

2019.4 – 2019.9

コースフロー / コースカリキュラム

日立製品

日立製作所のオープンミドルウェア、
プラットフォームソフトウェアなどを
扱うために必要な技術が修得できます。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/>

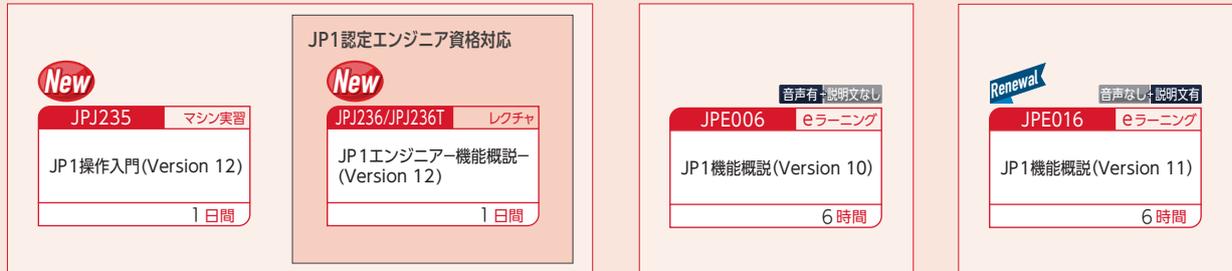
日立インフォメーションアカデミーホームページ

JP1

統合システム運用管理ソフトウェア JP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

JP1 Version 12対応の研修は、旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

● JP1 製品の導入を検討する方



● JP1 統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

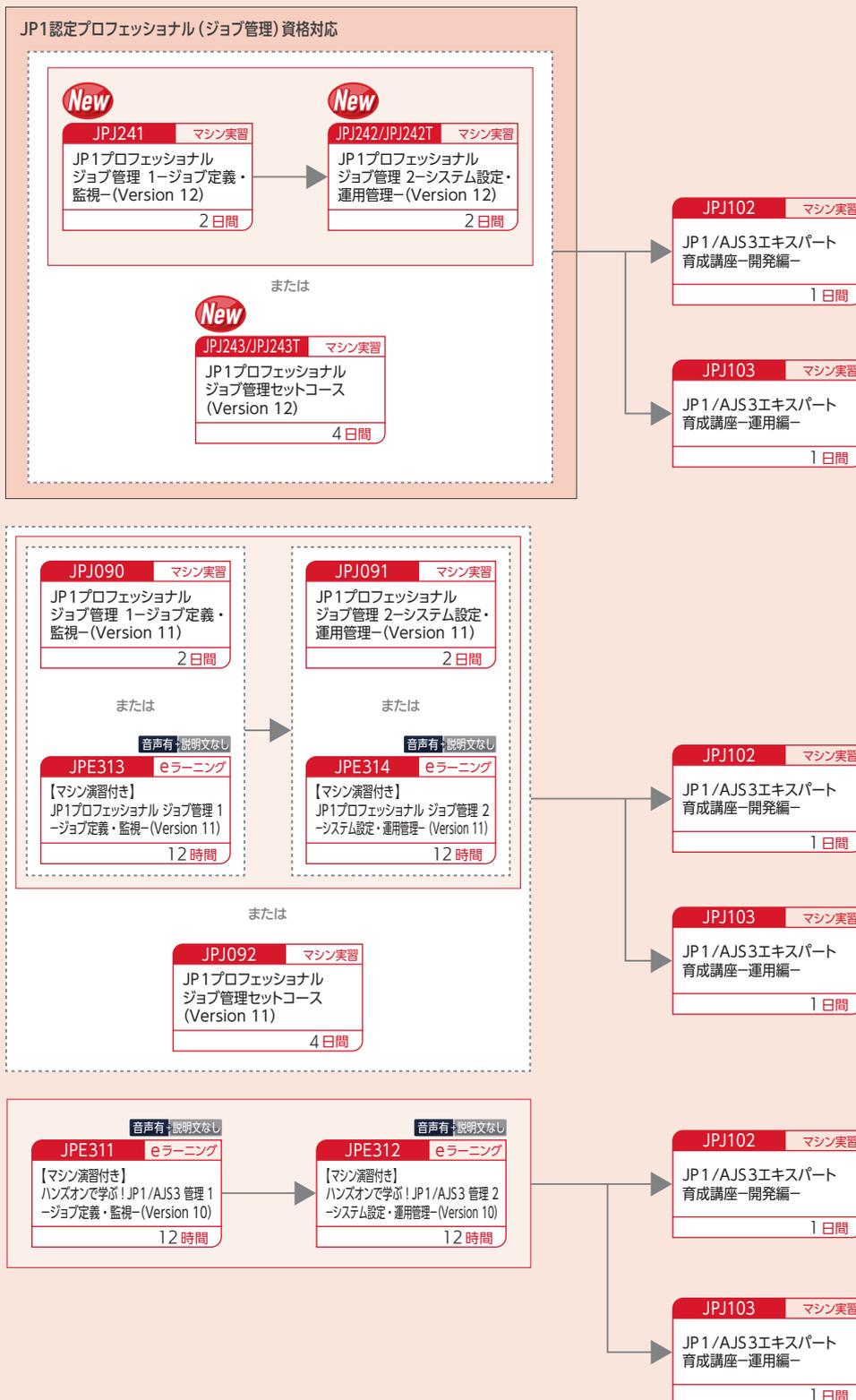
初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● JP1 IT運用自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方

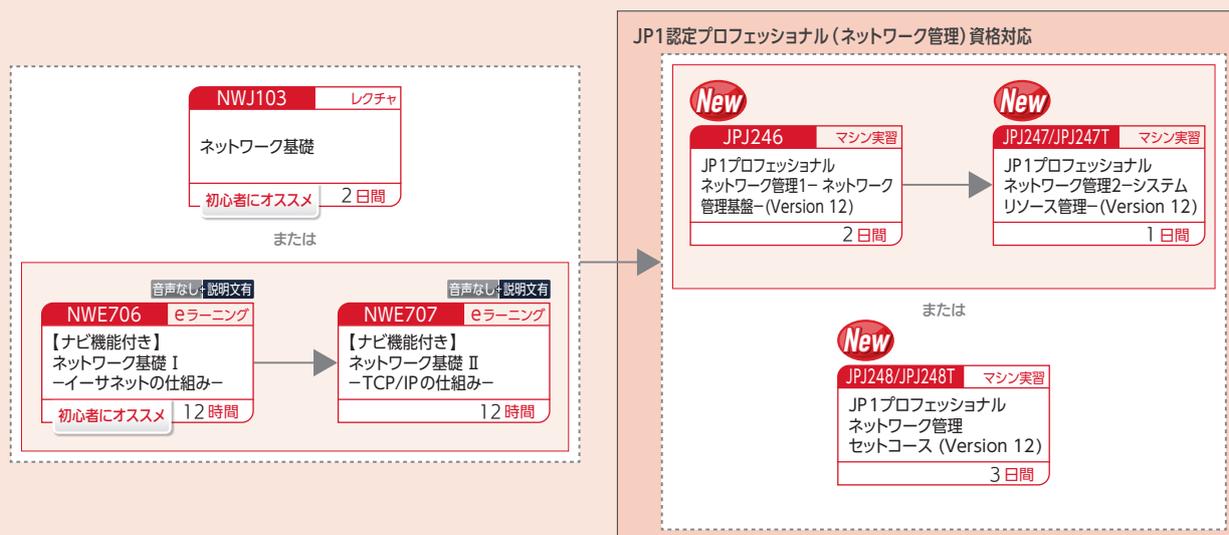
New

JPJ244 マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 IT運用自動化
 (Version 12)
 2日間

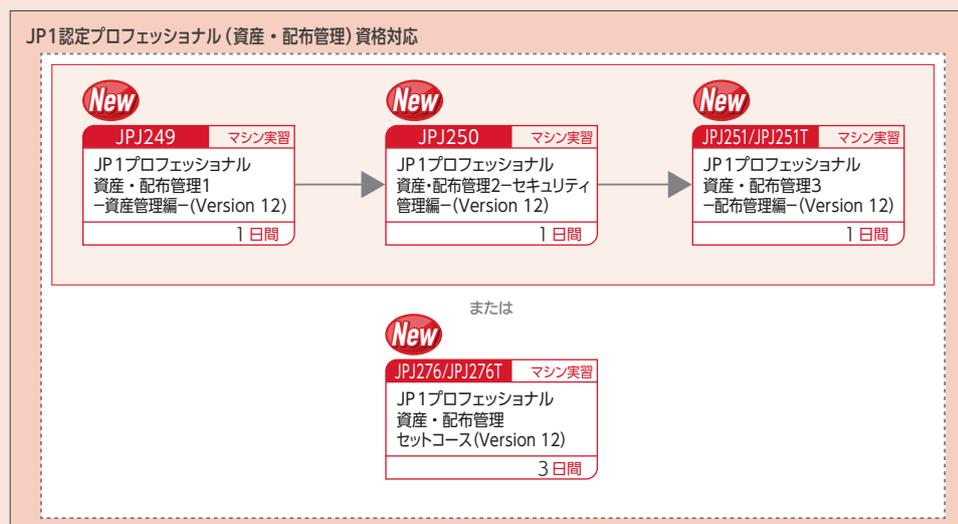
● JP1 ジョブ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



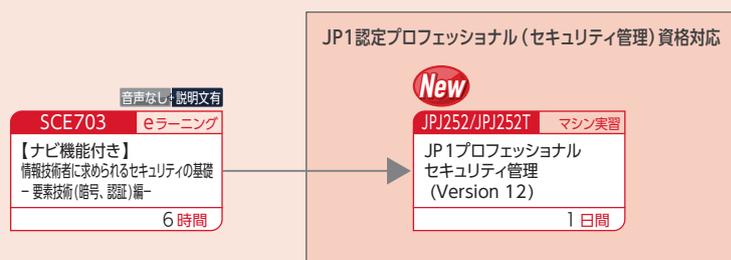
● JP1 ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 資産・配布管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 セキュリティ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有;説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● JP1パフォーマンス管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

JP1認定プロフェッショナル(パフォーマンス管理)資格対応

New

JPJ240/JPJ240T マシン実習

JP1プロフェッショナル
パフォーマンス管理
(Version 12)

2日間

音声有 説明文なし

JPE310 eラーニング

【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ！
JP1/PFM (Version 10)

12時間

Renewal

音声有 説明文なし

JPE019 eラーニング

【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ！
JP1/PFM (Version 11)

12時間

● JP1バックアップ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

JP1認定プロフェッショナル(バックアップ管理)資格対応

New

JPJ245/JPJ245T マシン実習

JP1プロフェッショナル
バックアップ管理
(Version 12)

1日間

● JP1の販売に携わる方

New

JPJ259 レクチャ

【日立パートナー様 限定コース】
JP1セールスコーディネーター
(Version 12)

1日間

音声有 説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし 説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



マシン実習
マシンを使用しながらの
研修



グループ演習
グループ演習を中心と
した研修



レクチャ
座学による研修



演習環境
職場・自宅などでのマシン演習
環境を使用した自己学習



研修室自習型
研修室でのマシン演習環境
を使用した自己学習



eラーニング
マシン実習



eラーニング
インターネット接続による
自己学習



自習テキスト
自習書による自己学習

● JP1の各カテゴリ製品のシステム設計をする方

New
JPJ235 マシン実習
 JP1操作入門 (Version 12)
 1日間

New
JPJ236/JPJ236T レクチャ
 JP1エンジニア機能概説
 (Version 12)
 1日間

New
JPJ241 マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 ジョブ管理 1-ジョブ定義・
 監視 (Version 12)
 2日間

New
JPJ242/JPJ242T マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 ジョブ管理 2-システム設定・
 運用管理 (Version 12)
 2日間

または
New
JPJ243/JPJ243T マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 ジョブ管理セットコース
 (Version 12)
 4日間

JP1認定コンサルタント
 (ジョブ管理) 資格対応
New
JPJ255 レクチャ
 JP1コンサルタント
 ジョブ管理-システム設計編
 (Version 12)
 1日間

New
JPJ256/JPJ256T レクチャ
 JP1コンサルタント
 ジョブ管理-チューニング編
 (Version 12)
 1日間

JP1認定プロフェッショナル (資産・配布管理) 資格対応

New
JPJ249 マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 資産・配布管理 1
 -資産管理編 (Version 12)
 1日間

New
JPJ250 マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 資産・配布管理 2-セキュリティ
 管理編 (Version 12)
 1日間

New
JPJ251/JPJ251T マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 資産・配布管理 3
 -配布管理編 (Version 12)
 1日間

または
New
JPJ276/JPJ276T マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 資産・配布管理
 セットコース (Version 12)
 3日間

JP1認定コンサルタント
 (資産・配布管理) 資格対応
New
JPJ257/JPJ257T レクチャ
 JP1コンサルタント
 資産・配布管理
 (Version 12)
 1日間

New
JPJ237 マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 統合管理 1-システム監視
 (Version 12)
 2日間

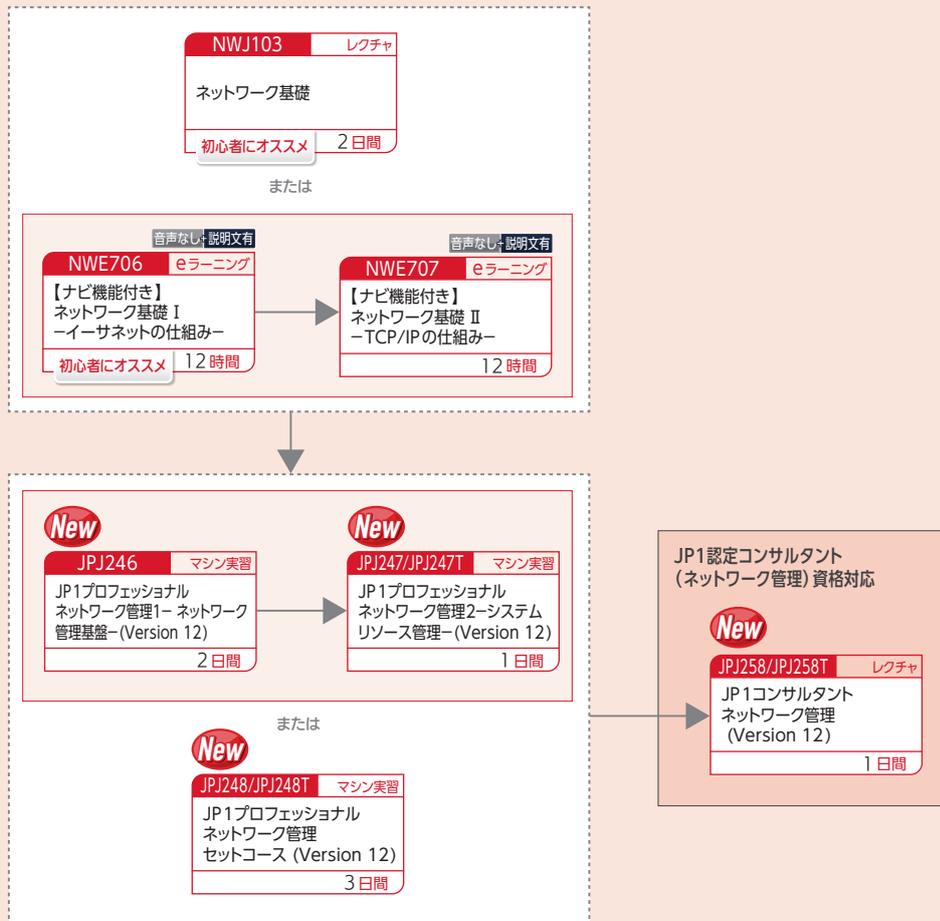
New
JPJ238/JPJ238T マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 統合管理 2-システム設定
 (Version 12)
 2日間

または
New
JPJ239/JPJ239T マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 統合管理セットコース
 (Version 12)
 4日間

JP1認定コンサルタント
 (統合管理) 資格対応
New
JPJ253/JPJ253T レクチャ
 JP1コンサルタント
 統合管理 (Version 12)
 1日間

New
JPJ240/JPJ240T マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 パフォーマンス管理
 (Version 12)
 2日間

JP1認定コンサルタント
 (パフォーマンス管理) 資格対応
New
JPJ254/JPJ254T レクチャ
 JP1コンサルタント
 パフォーマンス管理
 (Version 12)
 1日間



音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度 — オープンミドルウェア編

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度(オープンミドルウェア編)は、JP1製品を対象に、一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。セールスからシステム構築・運用、アプリケーション開発まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

資格取得をサポート

試験合格をサポートする学習コース「講座」もご用意しております。講座は、試験に準拠した内容となっており、かつ高度な知識やノウハウを体系的・効率的に学べる、と大変好評をいただいております。

信頼と安心の技術者資格認定

資格取得者は、そのスキルレベルを客観的に示すことができ、日立オープンミドルウェア各製品をご利用いただくお客様、ソリューションやサービスを提供する方々から高い信頼と評価を得ることができます。また、人材育成や技術者のテクニカルスキルをはかる尺度としても活用できます。

資格取得者の特典

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度では、資格取得者に対して専用のWebサイトをご用意し、資格のバージョンアップや継続してスキルアップを図るための技術情報をご提供しております。(ご希望の方にはメールでもご案内しております。)

また、認定証や名刺に貼ってご利用いただける認定ロゴシールや印刷して使用できるロゴも資格者専用の会員サイトにてご提供しております。

<受験にあたってのお願い>

- ・受験当日は、ご本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。
- ・認定試験はマークシート方式のため、鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック製消しゴムをご持参ください。
- ・試験付コースをお申し込みの場合は、お申し込みの情報を日立オープンミドルウェア技術者認定センターに提供いたします。

JP1 技術者資格認定試験一覧

試験名	試験内容	認定基準	試験時間
JP1認定エンジニア	CBT 日立 試験問題20問	70%以上正解	40分
JP1認定プロフェッショナル (各カテゴリ別認定)	CBT 日立 試験問題30問	70%以上正解	60分
<ul style="list-style-type: none"> ・統合管理 ・資産・配布管理 ・ネットワーク管理 ・パフォーマンス管理 ・セキュリティ管理 ・バックアップ管理 ・ジョブ管理 			
JP1認定コンサルタント (各カテゴリ別認定)	CBT 日立 試験問題30問	70%以上正解	60分
<ul style="list-style-type: none"> ・統合管理 ・資産・配布管理 ・パフォーマンス管理 ・ネットワーク管理 ・ジョブ管理 			
JP1認定セールスコーディネーター [※]	CBT 日立 試験問題20問	70%以上正解	30分

CBT CBT試験サービス会社で受験できる試験 日立 当社で研修とともに受験できる試験

※日立パートナー様のみ受験可能です。

資格認定試験は、(株)日立製作所が提供するものです。

運営は、(株)日立インフォメーションアカデミーおよびCBT試験サービス会社に委託しています。

※受験可能なCBT試験サービス会社は下記のホームページでお確かめください。

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度サイト ▶▶ JP1 <http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft/1/jp1/event/cert/index.html>

● JP1 技術者資格認定制度の詳細・最新情報について

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/cert/middleware/index.html>

● (株)日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 日立オープンミドルウェア技術者認定センター お問い合わせ窓口

https://www.8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp



マシン学習
マシンを使用しながらの
研修



グループ学習
グループ演習を中心とした
研修



レクチャ
座学による研修



学習環境
職場・ご自宅などでのマシン演習
環境を使用した自己学習



研修室自習型
研修室でのマシン演習環境
を使用した自己学習



eラーニング
インターネット接続による
自己学習



自習テキスト
自習書による自己学習

JP1技術者資格認定制度（Version 12対応）

※ Version 11については日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでお問い合わせください。

JP1

JP1技術者資格認定制度は、JP1の一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。

セールスからシステム構築・運用まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「JP1試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

JP1 技術者資格認定一覧

資格名	認定スキル
JP1認定エンジニア <Certified JP1 Engineer>	JP1全般の理解、および運用に必要なテクニカルスキルを修得したエンジニアを認定します。
JP1認定プロフェッショナル <Certified JP1 Professional> <ul style="list-style-type: none"> 統合管理 パフォーマンス管理 ジョブ管理 資産・配布管理 セキュリティ管理 ネットワーク管理 バックアップ管理 	JP1各カテゴリ製品の導入とシステム構築ができるテクニカルスキルを修得したエンジニアをカテゴリごとに認定します。
JP1認定コンサルタント <Certified JP1 Consultant> <ul style="list-style-type: none"> 統合管理 パフォーマンス管理 ジョブ管理 資産・配布管理 ネットワーク管理 	JP1各カテゴリ製品について、最適なコンサルテーションができるテクニカルスキルを修得したエンジニアを、カテゴリごとに認定します。
JP1認定セールスコーディネーター <Certified JP1 Sales Coordinator> ※	お客様に対し最適なJP1の提案・見積もりができるセールススキルを修得したエンジニアを認定します。

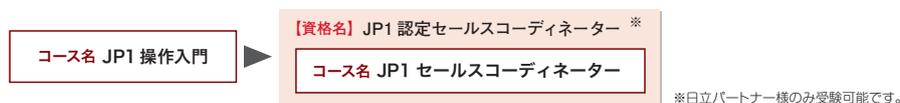
※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1 技術者資格認定制度の体系

構築・運用エンジニア JP1の構築・運用に携わる方



セールスエンジニア JP1の販売に携わる方



JP1 技術者資格認定制度における出題範囲

試験名	試験の出題範囲
JP1認定エンジニア	「JP1エンジニア機能概説- (Version 12)」(コースコード: JPJ236)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 統合管理	「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-(Version 12)」(コースコード: JPJ237)、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定-(Version 12)」(コースコード: JPJ238)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル パフォーマンス管理	「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 12)」(コースコード: JPJ240)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ジョブ管理	「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 12)」(コースコード: JPJ241)、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-(Version 12)」(コースコード: JPJ242)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 資産・配布管理	「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1-資産管理編-(Version 12)」(コースコード: JPJ249)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2-セキュリティ管理編-(Version 12)」(コースコード: JPJ250)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3-配布管理編-(Version 12)」(コースコード: JPJ251)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ネットワーク管理	「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基盤-(Version 12)」(コースコード: JPJ246)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理-(Version 12)」(コースコード: JPJ247)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル バックアップ管理	「JP1プロフェッショナル バックアップ管理 (Version 12)」(コースコード: JPJ245)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル セキュリティ管理	「JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 (Version 12)」(コースコード: JPJ252)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 統合管理	「JP1コンサルタント 統合管理 (Version 12)」(コースコード: JPJ253)、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-(Version 12)」(コースコード: JPJ237)、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定-(Version 12)」(コースコード: JPJ238)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント パフォーマンス管理	「JP1コンサルタント パフォーマンス管理 (Version 12)」(コースコード: JPJ254)、 「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 12)」(コースコード: JPJ240)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ジョブ管理	「JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編-(Version 12)」(コースコード: JPJ255)、 「JP1コンサルタント ジョブ管理-チューニング編-(Version 12)」(コースコード: JPJ256)、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 12)」(コースコード: JPJ241)、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-(Version 12)」(コースコード: JPJ242)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 資産・配布管理	「JP1コンサルタント 資産・配布管理 (Version 12)」(コースコード: JPJ257)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1-資産管理編-(Version 12)」(コースコード: JPJ249)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2-セキュリティ管理編-(Version 12)」(コースコード: JPJ250)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3-配布管理編-(Version 12)」(コースコード: JPJ251)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ネットワーク管理	「JP1コンサルタント ネットワーク管理 (Version 12)」(コースコード: JPJ258)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基盤-(Version 12)」(コースコード: JPJ246)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理-(Version 12)」(コースコード: JPJ247)のテキスト内容から出題
JP1認定セールスコーディネーター※	「JP1セールスコーディネーター (Version 12)」(コースコード: JPJ259)のテキスト内容から出題

※日立パートナー様のみ受験可能です。

JPJ235	JP1
	JP1操作入門 (Version 12) New
1日間	
JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> JP1の主要5製品の特徴を説明できる。 JP1/Automatic Job Management System3 (ジョブ管理) で業務を自動実行するための基本操作ができる。 JP1/IT Desktop Management2 (資産・配布管理) で資産管理をするための基本操作ができる。 JP1/Network Node Manager i (ネットワーク管理) でネットワークの監視をするための基本操作ができる。 JP1/Performance Management (パフォーマンス管理) で稼働情報を監視するための基本操作ができる。 JP1/Integrated Management Manager (統合管理) でシステム監視するための基本操作ができる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1を使用してシステム運用管理をする方。 JP1の導入を検討する方。
前提知識	オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知で、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> システム運用管理とJP1 ジョブ管理の操作入門 資産・配布管理の操作入門 ネットワーク管理の操作入門 パフォーマンス管理の操作入門 統合管理の操作入門
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、JP1 Version 12対応です。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPJ236/JPJ236T	JP1
	JP1エンジニア -機能概説- (Version 12) New
1日間	
全ての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> JP1製品の特長が説明できる。 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。 各管理の主要製品の主な機能の説明ができる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1製品の導入を検討される方、JP1のシステム構築・販売をする方。 JP1認定エンジニア資格の取得をめざす方。
前提知識	オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> JP1の基礎知識 オートメーション モニタリング コンプライアンス
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定エンジニア」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 12対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違のないようお願いいたします。 コースコード：JPJ236 (研修のみ) コースコード：JPJ236T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ237	JP1
	JP1プロフェッショナル 統合管理1 -システム監視- (Version 12) New
2日間	
JP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。 セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。 イベント監視ページのカスタマイズができる。 セントラルコンソールに表示するイベントの設定 (フィルター設定) ができる。 自動アクションの設定ができる。 重要イベントページのカスタマイズができる。 必要なイベントを検索できる。 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。 コマンド実行の操作ができる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/IMを使用してシステムを監視する方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	「JP1エンジニア-機能概説- (Version 12)」コース、または「JP1操作入門 (Version 12)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 統合管理の全体像 システム監視 <ol style="list-style-type: none"> システム監視の基本操作 繰り返しイベントの表示抑制 フィルターによるJP1イベントの絞り込み システム障害の検知 <ol style="list-style-type: none"> 自動アクション ローカルアクション 重要イベントページ ビジュアル監視 監視ツリー システム障害の調査・対処 <ol style="list-style-type: none"> ガイド情報の表示 メモ情報の設定 コマンド実行
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル (統合管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 12対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ238/JPJ238T	JP1
	JP1プロフェッショナル 統合管理2 -システム設定- (Version 12) New
2日間	
JP1/Integrated Management (JP1/IM)のインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> インストールする上で必要な製品構成を説明できる。 認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。 マネージャ・エージェントを構築できる。 ログファイル監視の設定ができる。 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。 ビジュアル監視の設定ができる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/IMのシステム構築をする方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視- (Version 12)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 統合管理の概要 統合管理の導入 <ol style="list-style-type: none"> インストール IMデータベースの構築 サービスの起動・終了 JP1イベントの集中管理設定 <ol style="list-style-type: none"> 構成管理設定 JP1イベントの転送設定 リモート監視構成管理の設定 ユーザー管理機能 <ol style="list-style-type: none"> ユーザー認証の設定 認証サーバの閉塞 ユーザーマッピングの設定 監視対象の設定 <ol style="list-style-type: none"> アプリケーションが出力するログの監視 Windowsイベントログの監視 リモート監視ホストのログ監視 イベントストーム発生時のイベント転送抑制設定 監視画面の設定 <ol style="list-style-type: none"> セントラルスコープのセットアップ 監視ツリー画面の設定 ビジュアル監視画面の設定
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル (統合管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 12対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違のないようお願いいたします。 コースコード：JPJ238 (研修のみ) コースコード：JPJ238T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ239/JPJ239T	JP1
	JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース (Version 12) New
4日間	
JP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/IMのインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。	
●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。	
<JPJ237> JP1プロフェッショナル 統合管理1 -システム監視- (Version 12)	
<JPJ238/JPJ238T> JP1プロフェッショナル 統合管理2 -システム設定- (Version 12)	
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル (統合管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 12対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違のないようお願いいたします。 コースコード：JPJ239 (研修のみ) コースコード：JPJ239T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ240/JPJ240T	JP1
	JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 12) New
2日間	
ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PM)製品の機能について、マシン実習を通して学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> JP1/PMのインストールとセットアップができる。 パフォーマンスデータの収集ができる。 レポート、アラームの作成、操作ができる。 統合コンソールとの連携設定ができる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/PMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	オペレーティングシステムや各種サーバの基本的な知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> パフォーマンス管理の概要 JP1/PMによる稼働情報の監視 JP1/PMのシステム構築 監視エージェントの設定 レポート定義 アラーム定義 統合コンソールとの連携
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル (パフォーマンス管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 12対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違のないようお願いいたします。 コースコード：JPJ240 (研修のみ) コースコード：JPJ240T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ241 JP1

**JP1プロフェッショナル
ジョブ管理1
—ジョブ定義・監視— (Version 12)** New

2日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
- ・自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。
- ・運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。
- ・業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。
- ・ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。

対象者

- ・JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方。
- ・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識
Windowsの基本的な操作経験があること。

内容

1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
 - (1) ジョブ定義
 - (2) 即時実行登録
 - (3) ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
 - (1) カレンダー情報の設定
 - (2) スケジュール設定
 - (3) 計画/確定実行登録
 - (4) 実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 - (1) ファイル更新契機のジョブの実行
 - (2) 起動条件の設定
5. 業務の実行監視

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ242/JPJ242T JP1

**JP1プロフェッショナル
ジョブ管理2
—システム設定・運用管理— (Version 12)** New

2日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)のインストール・設定・運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/AJS3製品のインストールができる。
- ・エージェントの追加・変更ができる。
- ・JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報の設定ができる。
- ・ジョブネットの定義の選定・回復、運用状況監視の操作ができる。
- ・運用中のジョブネットの変更(ジョブネット変更・リリース管理)ができる。

対象者

- ・JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。
- ・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識
「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1—ジョブ定義・監視— (Version 12)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JP1/AJS3のインストール
 - (1) JP1/Base、JP1/AJS3—Manager、JP1/AJS3—View
2. ジョブ実行環境の設定
 - (1) エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
 - (1) JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
 - (1) 複数スケジューラーサービス
 - (2) スケジューラーサービス参照制限
 - (3) 実行エージェントの制限 (4) 同時接続数制限
5. ジョブネットの運用
 - (1) ジョブネット定義の選定・回復
 - (2) 運用中のジョブネット変更 (3) 運用状況の監視

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード: JPJ242 (研修のみ)
- ・コースコード: JPJ242T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ243/JPJ243T JP1

**JP1プロフェッショナル
ジョブ管理
セットコース (Version 12)** New

4日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/AJS3のインストール・設定・運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

<JPJ241>
JP1プロフェッショナル ジョブ管理1
—ジョブ定義・監視— (Version 12)

<JPJ242/JPJ242T>
JP1プロフェッショナル ジョブ管理2
—システム設定・運用管理— (Version 12)

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード: JPJ243 (研修のみ)
- ・コースコード: JPJ243T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ244 JP1

**JP1プロフェッショナル
IT運用自動化 (Version 12)** New

2日間

JP1/AOを使用してIT運用自動化のための定義や監視を行う機能をマシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/AOの概要が説明できる。
- ・JP1/AOのインストールができる。
- ・サービスの登録、設定、実行の操作ができる。
- ・サービステンプレートの作成、部品の作成、カスタマイズができる。
- ・JP1/Navigation Platformと連携した運用ができる。

対象者

- ・JP1/AOを使用してシステム構築・運用管理をする方。
- ・Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

前提知識

内容

1. JP1/AOの概要
2. 設計と構築
3. JP1/AO運用
4. サービステンプレートの作成
5. JP1/NPとの連携

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ246 JP1

**JP1プロフェッショナル
ネットワーク管理1
—ネットワーク管理基盤— (Version 12)** New

2日間

ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i (JP1/NNMi) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/NNMiのシステム構成と基本機能を説明できる。
- ・JP1/NNMiのインストール後のセットアップができる。
- ・監視環境の構築(検出、ポーリング設定)ができる。
- ・インシデントの管理ができる。

対象者

- ・JP1/NNMiを使用したネットワーク管理、システム構築を行う方。
- ・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識
「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II—TCP/IPの仕組み—eラーニング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。「ネットワーク管理概説と演習」コースを修了しているか、ネットワーク管理プロトコルであるSNMPに関する知識があること。

内容

1. JP1によるネットワーク管理の概要
 - (1) JP1によるネットワーク管理
 - (2) ネットワーク管理オプション製品
 - (3) JP1/NNMiを使ったネットワーク管理の概要
2. セットアップ
 - (1) システム構成
 - (2) ユーザーアカウントの作成
 - (3) 通信の基本設定
3. 監視対象の登録
 - (1) ノードの登録 (2) 管理モード
 - (3) ノードグループの作成
4. 障害監視・性能監視
 - (1) 障害監視の動作 (2) 監視設定
 - (3) 性能情報の利用
5. インシデント管理
 - (1) インシデントの監視 (2) インシデントへの対応
 - (3) インシデント管理の設定

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ247/JPJ247T JP1

**JP1プロフェッショナル
ネットワーク管理2
—システムリソース管理— (Version 12)** New

1日間

JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO)を使用したサーバのリソース管理・プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。
- ・JP1/SSOのインストールができる。
- ・システムリソースの参照、収集設定ができる。
- ・プロセスリソースの状態監視、監視設定ができる。
- ・JP1/NNMiとの連携設定ができる。

対象者

- ・JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO)を使用してサーバのリソース管理、プロセス管理を行う方。
- ・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識
「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1—ネットワーク管理基盤— (Version 12)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JP1によるリソース管理の概要
2. セットアップ
 - (1) システム構成
 - (2) 監視マネージ、監視サーバ、リモート操作端末のセットアップ
 - (3) SSOコンソールのユーザー認証
3. システムリソース管理
 - (1) システムリソースの収集、参照
 - (2) レポート機能
4. プロセスおよびサービス監視
 - (1) 監視設定、状態参照
5. JP1/NNMiとの連携設定
 - (1) 収集や監視で発生するイベント
 - (2) マップ連携、アクション連携

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード: JPJ247 (研修のみ)
- ・コースコード: JPJ247T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ248/JPJ248T JP1	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース (Version 12)	New
3日間		
ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i (JP1/NNMI) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。また、JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO) を使用したサーバのリソース管理・プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。		
●このコースは、セットコースのご案内となります。 各コースの詳細情報をご参照ください。		
<JPJ246> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1 -ネットワーク管理基礎- (Version 12)		
<JPJ247/JPJ247T> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2 -システムリソース管理- (Version 12)		
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 12対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ248 (研修のみ) コースコード：JPJ248T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 	

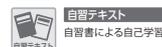
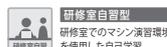
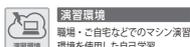
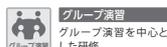
JPJ249 JP1	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1 -資産管理編- (Version 12)	New
1日間		
JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用した資産管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータなどの機器の状態を把握してメンテナンスができる。 ハードウェア資産やソフトウェアのライセンス過不足の状況を把握できる。 	
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用してコンピュータの資産管理を実施する方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 	
前提知識	Microsoft Windowsを操作できること。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 資産管理の概要 JP1/ITDM2の導入 機器管理 リモートコントロール 資産管理 Asset Console 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 12対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 	

JPJ250 JP1	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2 -セキュリティ管理編- (Version 12)	New
1日間		
JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ状況の把握と対策を検討できる。 	
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用してコンピュータのセキュリティ管理を実施する方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 	
前提知識	Microsoft Windowsを操作できること。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> セキュリティ管理の概要 セキュリティポリシーの作成 セキュリティ状況の確認 更新プログラムの管理 ネットワークの接続制御 スマートデバイス管理 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 12対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 	

JPJ251/JPJ251T JP1	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3 -配布管理編- (Version 12)	New
1日間		
JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用した配布管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> パッチやファイルをコンピュータに配布し、インストールできる。 	
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用してコンピュータの配布管理を実施する方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 	
前提知識	Microsoft Windowsを操作できること。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 配布管理の概要 リモートインストールマネージャを利用した配布 ITDM互換配布 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 12対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ251 (研修のみ) コースコード：JPJ251T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 	

JPJ276/JPJ276T JP1	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース (Version 12)	New
3日間		
JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用した資産管理・セキュリティ管理・配布管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。		
●このコースは、セットコースのご案内となります。 各コースの詳細情報をご参照ください。		
<JPJ249> JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1 -資産管理編- (Version 12)		
<JPJ250> JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2 -セキュリティ管理編- (Version 12)		
<JPJ251/JPJ251T> JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3 -配布管理編- (Version 12)		
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 12対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ276 (研修のみ) コースコード：JPJ276T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 	

JPJ252/JPJ252T JP1	JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 (Version 12)	New
1日間		
JP1/秘文を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> JP1/秘文のシステム構成と基本機能を説明できる。 JP1/秘文のインストールとセットアップができる。 秘文DCによる持ち出し/読み込み制御の操作ができる。 秘文DEによるHD、リムーバブルディスク、ファイルの暗号化の操作ができる。 秘文 Serverの設定と操作ができる。 	
対象者	<ul style="list-style-type: none"> JP1/秘文を使用してセキュリティ管理を行う方。 JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 	
前提知識	セキュリティの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> JP1/秘文の概要 秘文DC、秘文Serverの主要機能 秘文DEの主要機能 秘文DE (FS)、秘文 Sever (ファイルサーバ)の主要機能 秘文Server (秘文LM) 秘文DPの主要機能 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(セキュリティ管理)」資格に準拠したコースです。 このコースは、JP1 Version 12対応です。 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ252 (研修のみ) コースコード：JPJ252T (試験付) 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 	



JPJ245/JPJ245T JP1

**JP1プロフェッショナル
バックアップ管理 (Version 12)** New

マンシ実習
1日間

JP1/VERITAS NetBackupによるバックアップ管理機能を理解し、その使い方を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/VERITAS NetBackupの主な機能を説明できる。
- ・JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成を説明できる。
- ・JP1/VERITAS NetBackupのインストールと環境設定ができる。
- ・バックアップジョブとリストアジョブを作成し実行できる。

対象者

- ・JP1/VERITAS NetBackupを使用してバックアップ管理を行う方。
- ・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識

Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。また、一般的なバックアップの基礎知識があること。

内容

1. JP1/VERITAS NetBackupの概要
 - (1) バックアップとリストアの基礎知識
 - (2) JP1/VERITAS NetBackupの製品概要
 - (3) JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成
2. インストールと環境設定
 - (1) JP1/VERITAS NetBackupのインストール
 - (2) JP1/VERITAS NetBackupの環境設定
3. バックアップとリストア
 - (1) JP1/VERITAS NetBackupによるデータバックアップ
 - (2) JP1/VERITAS NetBackupによるデータのリストア
4. 高度なバックアップ

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(バックアップ管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
コースコード：JPJ245 (研修のみ)
コースコード：JPJ245T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ255 JP1

**JP1コンサルタント
ジョブ管理
—システム設計編— (Version 12)** New

レクチャ
1日間

JP1/AJS3を中心としたジョブ設計・運用設計に関する知識を学習します。また、要件の確認からシステム設計・ジョブ運用までの一連の流れを学習します。

到達目標

- ・JP1/AJS3を中心としたジョブ設計、運用設計に関する知識を修得できる。

対象者

- ・JP1ジョブ管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
- ・JP1コンサルタント資格(ジョブ管理)をめざす方。

前提知識

「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1—ジョブ定義・監視—(Version 12)」および「JP1プロフェッショナル ジョブ管理2—システム設定・運用管理—(Version 12)」コースを修了しているか、または同等の知識をお持ちのこと。

内容

1. 顧客要件の確認
2. システム設計
3. JP1設計ポイント
4. トラブルシュート

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ256/JPJ256T JP1

**JP1コンサルタント
ジョブ管理
—チューニング編— (Version 12)** New

レクチャ
1日間

JP1/AJS3を中心としたジョブ管理の性能設計・性能対策および移行について学習します。

到達目標

- ・性能設計に必要な条件が説明できる。
- ・性能向上のための性能対策ができる。
- ・移行の注意事項が説明できる。

対象者

- ・JP1ジョブ管理製品の導入・構築・運用において性能設計・性能対策および移行を行う方。
- ・JP1認定コンサルタント資格(ジョブ管理)の取得をめざす方。

前提知識

「JP1コンサルタント ジョブ管理—構築・運用—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 性能に関するチューニング
2. JP1/AJS3への移行
3. JP1/AJS3トラブル事例
4. JP1/AJS3活用術

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
コースコード：JPJ256 (研修のみ)
コースコード：JPJ256T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ257/JPJ257T JP1

**JP1コンサルタント
資産・配布管理 (Version 12)** New

レクチャ
1日間

JP1資産・配布管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標

- ・JP1資産・配布管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者

- ・JP1資産・配布管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
- ・JP1認定コンサルタント資格(資産・配布管理)の取得をめざす方。

前提知識

「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1・2・3 (Version 12)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 設計
2. 構築
3. JP1製品との連携
4. 障害事例

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
コースコード：JPJ257 (研修のみ)
コースコード：JPJ257T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ253/JPJ253T JP1

**JP1コンサルタント
統合管理 (Version 12)** New

レクチャ
1日間

JP1統合管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標

- ・JP1統合管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者

- ・JP1統合管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
- ・JP1認定コンサルタント資格(統合管理)の取得をめざす方。

前提知識

「JP1プロフェッショナル 統合管理 1—システム監視—(Version 12)」コース、および「JP1プロフェッショナル 統合管理 2—システム設定—(Version 12)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JP1による運用管理システムの構築工程
2. 想定する顧客システムの構成
3. 要件定義
4. 設計
5. 構築作業
6. 運用に向けて
7. 障害事例

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(統合管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
コースコード：JPJ253 (研修のみ)
コースコード：JPJ253T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ254/JPJ254T JP1

**JP1コンサルタント
パフォーマンス管理 (Version 12)** New

レクチャ
1日間

JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標

- ・JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を修得できる。

対象者

- ・JP1パフォーマンス管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
- ・JP1認定コンサルタント(パフォーマンス管理)資格の取得をめざす方。

前提知識

「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 12)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. パフォーマンス管理の導入事例
2. 想定するお客様とシステムの概要
3. 稼働監視システムの運用サイクル
4. 稼働監視システムの設計
5. 環境構築
6. 運用に向けた留意事項
7. 他のJP1製品との連携
8. 障害事例

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(パフォーマンス管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
コースコード：JPJ254 (研修のみ)
コースコード：JPJ254T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ258/JPJ258T JP1

JP1コンサルタント ネットワーク管理 (Version 12) New

1日間

JP1ネットワーク管理製品の構成設計・運用設計に関する知識を学習します。

到達目標

- ・JP1ネットワーク管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者

- ・JP1ネットワーク管理製品の導入・構築コンサルタントに就く方。
- ・JP1認定コンサルタント資格(ネットワーク管理)の取得をめざす方。

前提知識

「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基礎-(Version 12)」および「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理-(Version 12)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 想定するお客様環境例
2. 監視要件の整理
3. 各種設定の解説

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 12対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えないようお願いいたします。
- コースコード：JPJ258 (研修のみ)
- コースコード：JPJ258T (試験付)
- 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ259 JP1

【日立パートナー様 限定コース】 JP1セールスコーディネーター (Version 12) New

1日間

お客様に対して最適なシステムの提案、および価格の見積りができるセールススキルを学習します。

到達目標

- ・JP1製品概要が説明できる。
- ・お客様の要望に対し製品を提案できる。
- ・JP1製品の価格見積りができる。

対象者

- ・お客様に対して最適なシステムの提案スキルを修得したい営業・SEの方。
- ・JP1認定セールスコーディネーター資格の取得をめざす方。

前提知識

コンピュータの基礎基礎知識があること。

内容

1. JP1の基礎知識 (JP1の特長、製品体系など)
2. JP1の製品概要 (JP1各製品の紹介など)
3. サービス商品 (運用管理のサービス商品の紹介など)
4. 拡張ツールの紹介 (拡張ツールとその活用場面など)
5. 見積り基礎知識 (JP1製品の提供形態とライセンス体系など)
6. 提案する製品の特長と見積り方法
7. JP1認定セールスコーディネーター資格試験

備考

- ・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、日立パートナー様限定で提供するものです。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・試験については、「日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。
- ・認定試験の受験料は、受講料に含まれます。

JPE016 JP1

<eラーニング> JP1機能概説 (Version 11) Renewal

平均6時間

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標

- ・JP1製品の特長が説明できる。
- ・各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
- ・各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者

- ・JP1製品の導入を検討する方。
- ・JP1のシステム構築・販売をする方。

前提知識

オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知のこと。

内容

1. JP1の基礎知識
2. オートメーション
3. モニタリング
4. コンプライアンス
5. 修了試験

備考

- ・終了日は9月30日になります。
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE017 JP1

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/IM管理1 -システム監視- (version 11) Renewal

平均12時間

JP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
- ・セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
- ・イベント監視ページのカスタマイズができる。
- ・セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。
- ・自動アクションの設定ができる。
- ・重要イベントページのカスタマイズができる。
- ・必要なイベントを検索できる。
- ・他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
- ・コマンド実行の操作ができる。

対象者

JP1/IMを使用してシステムを監視する方。

前提知識

「JP1機能概説 (Version 11)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 統合管理の全体像
2. システム監視
 - (1) システム監視の基本操作
 - (2) 繰り返しイベントの表示抑制
 - (3) フィルターによるJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
 - (1) 自動アクション
 - (2) ローカルアクション
 - (3) 重要イベントページ
 - (4) ビジュアル監視
 - (5) 監視ツール
4. システム障害の調査・対応
 - (1) ガイド情報の表示
 - (2) メモ情報の設定
 - (3) コマンド実行
5. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必要です。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
- <https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご確認ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、「JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込み後にもご注意ください。

JPE018 JP1

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/IM管理2 -システム設定- (version 11) Renewal

平均12時間

JP1/Integrated Management (JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
- ・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
- ・マネージャ・エージェントを構築できる。
- ・ログファイル監視の設定ができる。
- ・監視ツールの作成やカスタマイズができる。
- ・ビジュアル監視の設定ができる。

対象者

JP1/IMのシステム構築をする方。

前提知識

【【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/IM管理1-システム監視-(Version 11)】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 統合管理の概要
2. 統合管理の導入
 - (1) インストール
 - (2) IMデータベースの構築
 - (3) サービスの起動・終了
3. JP1イベントの集中管理設定
 - (1) 構成管理設定
 - (2) JP1イベントの転送設定
 - (3) リモート監視構成管理の設定
4. ユーザー管理機能
 - (1) ユーザー認証の設定
 - (2) 認証サーバの閉塞
 - (3) ユーザーマッピングの設定
5. 監視対象の設定
 - (1) アプリケーションが出力するログの監視
 - (2) Windowsイベントログの監視
 - (3) リモート監視ホストのログ監視
 - (4) イベントストーム発生時のイベント転送抑制設定
6. 監視画面の設定
 - (1) セントラルスコープのセットアップ
 - (2) 監視ツール画面の設定
 - (3) ビジュアル監視画面の設定
7. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必要です。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
- <https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご確認ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、「JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込み後にもご注意ください。

JPJ090 JP1

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視- (Version 11)

2日間

JP1/AJS3を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
- ・自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。
- ・運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。
- ・業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。
- ・ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。

対象者

JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方。

前提知識

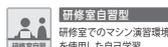
Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容

1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
 - (1) ジョブ定義
 - (2) 即時実行登録
 - (3) ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
 - (1) カレンダー情報の設定
 - (2) スケジュール設定
 - (3) 計画/確定実行登録
 - (4) 実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 - (1) ファイル更新契機のジョブの実行
 - (2) 起動条件の設定
5. 業務の実行監視

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。



JPJ091 JP1

**JP1プロフェッショナル
ジョブ管理 2
-システム設定・運用管理-(Version 11)**

2日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/AJS3のインストールができる。
- ・エージェントの追加・変更ができる。
- ・JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報 (JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザーマッピング)の設定ができる。
- ・ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
- ・運用中のジョブネットの変更 (ジョブネット変更・リリース管理)ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1-ジョブ定義・監視-(Version 11)」コース、または【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 11)】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JP1/AJS3のインストール
 - (1) JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
 - (1) エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
 - (1) JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
 - (1) 複数スケジューラーサービスでの運用
 - (2) スケジューラーサービス参照制限
 - (3) 実行エージェント制限
 - (4) スケジューラーサービスの同時接続制限
 - (5) IPアドレスによる接続元ホスト制限
5. ジョブネットの運用
 - (1) ジョブネットの退避・回復
 - (2) ジョブネット定義の変更
 - (3) 業務の運用状況の確認

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 11 対応です。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPJ092 JP1

**JP1プロフェッショナル
ジョブ管理
セットコース (Version 11)**

4日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/AJS3のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

<JPJ090>
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1
-ジョブ定義・監視-(Version 11)

<JPJ091>
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2
-システム設定・運用管理-(Version 11)

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 11 対応です。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPE313 JP1

**<eラーニング>【マシン演習付き】
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1
-ジョブ定義・監視-(Version 11)**

平均12時間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
- ・自動化する業務 (ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。
- ・運用スケジュール (運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。
- ・業務を実行する条件 (イベント監視、起動条件)の定義ができる。
- ・ジョブネットの実行 (即時、計画、確定)および監視 (ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容

1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
 - (1) ジョブ定義
 - (2) 即時実行登録
 - (3) ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
 - (1) カレンダー情報の設定
 - (2) スケジュール設定
 - (3) 計画/確定実行登録
 - (4) 実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 - (1) ファイル更新契機のジョブの実行
 - (2) 起動条件の設定
5. 業務の実行監視
6. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 11 対応です。
- ・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1-ジョブ定義・監視-(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講の方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要となります。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法を確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE314 JP1

**<eラーニング>【マシン演習付き】
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2
-システム設定・運用管理-(Version 11)**

平均12時間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/AJS3のインストールができる。
- ・ジョブ実行環境のセットアップができる。
- ・JP1/AJS3を操作するユーザー情報の設定ができる。
- ・JP1/AJS3スケジューラーサービスの分割および参照制限ができる。
- ・実行エージェントや接続元ホストでのジョブ実行の制限ができる。
- ・JP1ユーザーの同時接続制限ができる。
- ・ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
- ・運用中のジョブネットの変更ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 11)」コース、または【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 11)】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JP1/AJS3のインストール
 - (1) JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
 - (1) エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
 - (1) JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
 - (1) 複数スケジューラーサービスでの運用
 - (2) スケジューラーサービス参照制限
 - (3) 実行エージェント制限
 - (4) スケジューラーサービスの同時接続制限
 - (5) IPアドレスによる接続元ホスト制限
5. ジョブネットの運用
 - (1) ジョブネットの退避・回復
 - (2) ジョブネット定義の変更
 - (3) 業務の運用状況の確認
6. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 11 対応です。
- ・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理2-システム設定・運用管理-(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講の方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要となります。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法を確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPJ102 JP1

**JP1/AJS3 エキスパート育成講座
-開発編-**

1日間

ジョブ管理 (JP1/AJS) を使用した業務開発で困っていることを、業務開発のノウハウとお薦め機能を使って解決する方法を学習します。

到達目標

- ・ジョブ管理の業務設計・開発ノウハウを活用できる。
- ・効率的なテスト設計により、短期間でのテストができる。
- ・問題点や注意点を活かした移行ができる。
- ・メンテナンスしやすい業務設計・開発ができる。

対象者 JP1/AJS3 (JP1/AJS2) を使用した業務開発 (ジョブ定義) の課題に対して解決策を検討する方。

前提知識 旧バージョンも含め「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1-ジョブ定義・監視-」コース/eラーニングコースおよび「JP1プロフェッショナル ジョブ管理2-システム設定・運用管理-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または、同等の知識があること。

内容

1. 業務設計のコツ
2. 業務開発のコツ
3. テスト効率化のコツ
4. 業務移行のコツ

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 12 対応です。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方も受講できます。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPJ103 JP1

**JP1/AJS3 エキスパート育成講座
-運用編-**

1日間

ジョブ管理 (JP1/AJS) を使用したシステム運用で困っていることを、運用のノウハウとお薦め機能を使って解決する方法を学習します。

到達目標

- ・ジョブ管理の本番適用/リリース時のノウハウを活用できる。
- ・業務運用および監視の便利な機能を活用できる。
- ・コンプライアンスを守るためのオペレータ負荷の軽減や操作ミスの防止ができる。
- ・カレンダー、スケジュールの設定、変更時の注意点を活用できる。

対象者 JP1/AJS3 (JP1/AJS2) を使用したシステム運用 (ジョブ運用) の課題に対して解決策を検討する方。

前提知識 旧バージョンも含め「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1-ジョブ定義・監視-」コース/eラーニングコースおよび「JP1プロフェッショナル ジョブ管理2-システム設定・運用管理-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または、同等の知識があること。

内容

1. 本番適用/リリースのコツ
2. 業務監視、操作のコツ
3. カレンダー/スケジュール運用のコツ
4. セキュアな運用設計のコツ

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 12 対応です。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方も受講できます。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPE019 JP1

<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM
(Version 11)

平均12時間

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM) 製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- ・パフォーマンスデータの収集ができる。
- ・レポート、アラームの作成、操作ができる。
- ・統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。
前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内容

1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
3. JP1/PFMのシステム構築
4. 監視エージェントの設定
5. レポート定義
6. アラーム定義
7. 統合コンソールとの連携
8. 修了試験 (JP1 認定資格試験ではありません)

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎたキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)」コース (集合研修) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE308 JP1

<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1
ーシステム監視ー (Version 10)

平均12時間

JP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システム統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
- ・セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
- ・イベント監視ページのカスタマイズができる。
- ・セントラルコンソールに表示するイベントの設定 (フィルター設定) ができる。
- ・自動アクションの設定ができる。
- ・重要イベントページのカスタマイズができる。
- ・必要なイベントを検索できる。
- ・他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
- ・コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。
前提知識 「JP1機能概説 (Version 10)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 統合管理の概要
2. システム監視
 - (1) イベントコンソール、監視ツールによる監視
 - (2) フィルター機能
3. システム障害の検知
 - (1) 自動アクション
 - (2) 重要イベント監視
4. システム障害の調査・対応
 - (1) ガイド機能
 - (2) イベント検索
 - (3) モニター起動
 - (4) 統合機能メニュー
 - (5) コマンド実行
5. 修了試験 (JP1 認定資格試験ではありません)

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎたキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視 (Version 10)」コース (集合研修) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE309 JP1

<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 2
ーシステム設定ー (Version 10)

平均12時間

JP1/Integrated Management (JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
- ・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
- ・マネージャ・エージェントを構築できる。
- ・ログファイル監視の設定ができる。
- ・監視ツールの作成やカスタマイズができる。
- ・ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方。
前提知識 【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1-システム監視 (Version 10) eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 統合管理の導入
 - (1) インストール
 - (2) IMデータベースの構築
2. イベントの集中管理
3. ユーザー管理機能
 - (1) ユーザー認証設定
 - (2) ユーザーマッピング設定
4. 監視対象の設定
 - (1) イベント変換設定
 - (2) リモート監視
5. 監視画面の設定
 - (1) 監視ツール設定
 - (2) ビジュアル監視画面設定
6. 修了試験 (JP1 認定資格試験ではありません)

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎたキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定」コース (集合研修) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE310 JP1

<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM
(Version 10)

平均12時間

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM) 製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- ・パフォーマンスデータの収集ができる。
- ・レポート、アラームの作成、操作ができる。
- ・統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。
前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内容

1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
3. JP1/PFMのシステム構築
4. 監視エージェントの設定
5. レポート定義
6. アラーム定義
7. 統合コンソールとの連携
8. 修了試験 (JP1 認定資格試験ではありません)

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎたキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル アベイラビリティ管理 (Version 10)」コース (集合研修) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE006 JP1

<eラーニング>
JP1機能概説 (Version 10)

平均6時間

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標

- ・JP1製品の特徴が説明できる。
- ・各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
- ・各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売する方。
前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。

内容

1. JP1の基礎知識
2. 統合管理
3. サービスレベル管理
4. アベイラビリティ管理
5. IT運用自動化
6. ジョブ管理
7. 資産・配布管理
8. セキュリティ管理
9. ネットワーク管理
10. ストレージ管理
11. 修了試験 (JP1 認定資格試験ではありません)

備考

- ・終了日は9月30日になります。
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・このコースは、旧「JP1 エンジンニア 機能概説 (Version 10)」コースと同等の内容です。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE311 JP1

<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 1
ージョブ定義・監視ー (Version 10)

平均12時間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・自動化する業務の定義、実行、監視操作ができる。
- ・運用スケジュールの定義、実行、監視操作ができる。
- ・実行条件の定義、実行、監視操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用した自動化業務の設定および、運用操作を行う方。
前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容

1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
 - (1) ジョブ定義
 - (2) 即時実行登録
 - (3) ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
 - (1) カレンダー情報の設定
 - (2) スケジュール設定
 - (3) 計画/確定実行登録
 - (4) 実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 - (1) ファイル更新契機のジョブの実行
 - (2) 起動条件の設定
5. 修了試験 (JP1 認定資格試験ではありません)

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎたキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE312 JP1	
 <eラーニング>[マシン演習付き] ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 2 ーシステム設定・運用管理ー (Version 10)	
平均12時間	
JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3) のインストール、設定、運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・JP1/AJS3のインストールができる。 ・エージェントの追加・変更ができる。 ・JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報 (JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザーマッピング) の設定ができる。 ・JP1/AJS3のバックアップとリカバリーができる。 ・ジョブネットの定義の選避・回復、運用状況監視の操作ができる。 ・運用中のジョブネットの変更 (ジョブネット変更・リリース管理) ができる。
対象者	JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。
前置知識	「ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理1ージョブ定義・監視ー (Version 10)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/AJS3のインストール <ol style="list-style-type: none"> (1) JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View 2. ジョブ実行環境の設定 <ol style="list-style-type: none"> (1) エージェント管理機能の設定 3. ユーザー管理機能の設定 <ol style="list-style-type: none"> (1) JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング 4. ジョブネットの運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) ジョブネット定義の選避・回復 (2) 運用状況の監視 (3) 運用中のジョブネット変更 5. システムのバックアップとリカバリー <ol style="list-style-type: none"> (1) JP1/Base、JP1/AJS3のバックアップ、リカバリー (2) JP1/AJS3データベースのバックアップ、リカバリー 6. 修了試験 (JP1 認定資格試験ではありません)
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースには、資格認定試験はありません。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

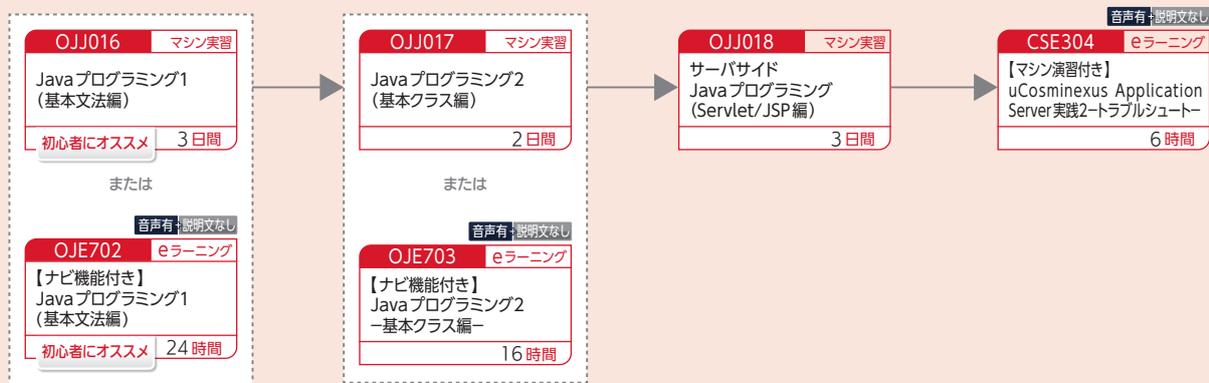
uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

• uCosminexus Application Serverの設計・構築・運用をする方



• uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



• uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



※下記集合研修のコースについてお問い合わせがある場合は、日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでご連絡願います。

「CSJ017 uCosminexus Application Server入門-構築基礎-」
「CSJ018 uCosminexus Application Server実践1-設計・構築-」

【日立オープンミドルウェア技術者認定センター問い合わせ窓口】
https://www8.hitachi.com/jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

CSE302 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】
uCosminexus Application Server
入門ー構築基礎ー
 平均6時間

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの構築手法を学習します。uCosminexus Application ServerのインストールからWebシステムの構築までを扱います。

到達目標

- ・uCosminexus Application Serverの機能概要を説明できる。
- ・uCosminexus Application Serverを用いて基本的な構成のWebシステムを構築できる。

対象者

uCosminexus Application Serverを用いてWebシステムを構築する方、uCosminexus Application Serverの導入を検討している方。

前置知識

Webアプリケーションに関する基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容

1. アプリケーションサーバ概要
2. uCosminexus Application Serverシステム構築の流れ
3. uCosminexus Application Serverのインストール
4. セットアップウィザードを用いたシステム構築
5. 運用管理ポータルを用いた操作・設定
6. 修了試験

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 入門ー構築基礎ー」コース(CSJ017)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング> uCosminexus エンジン アプリケーションサーバシステム構築基礎ー」コースの名称を変更したものです。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE303 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】
uCosminexus Application Server
実践1ー設計・構築ー
 平均12時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムの設計・構築・運用に必要なノウハウを学習します。

到達目標

- ・要件にあった運用方法や信頼性確保手順を説明できる。
- ・システム構築に使用するパラメータを設計できる。
- ・システムの構築・運用ができる。

対象者

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの設計・構築をする方。

前置知識

「uCosminexus Application Server 入門ー構築基礎ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにWebシステムの構築または運用に携わった経験があること。

内容

1. 作業概要とシステム基本構成
2. システム基本設計
3. システム詳細設計
4. システム構築
5. 修了試験

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 実践1ー設計・構築ー」コース(CSJ018)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE304 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】
uCosminexus Application Server
実践2ートラブルシュートー
 平均6時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムのトラブルシュートについて学習します。トラブルが発生したときの対処方法を理解できます。

到達目標

- ・トラブルシュートの流れを説明できる。
- ・代表的なトラブルについて、原因を切り分けることができる。

対象者

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの障害対応をする方、JavaEEアプリケーションの開発をする方。

前置知識

「uCosminexus Application Server 実践1ー設計・構築ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにJavaEEアプリケーション開発に携わった経験があること。

内容

1. トラブルシュートの概要
2. トラブルシュート手順
3. 代表的なトラブルの原因切り分け方法
4. 修了試験

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践2ートラブルシュートー」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE001 uCosminexus Application Server

<eラーニング>
uCosminexus Application Server
実践3ー性能設計・性能対策ー
 平均6時間

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムにおいて、要件を満たす性能設計、性能対策について学習します。

到達目標

- ・性能設計と性能検証の関係について説明できる。
- ・要件を満たす性能設計ができる。
- ・ボトルネックの要因を分析し、性能対策ができる

対象者

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの性能設計および性能対策をする方。

前置知識

「uCosminexus Application Server 実践1ー設計・構築ー」および「uCosminexus Application Server 実践2ートラブルシュートー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

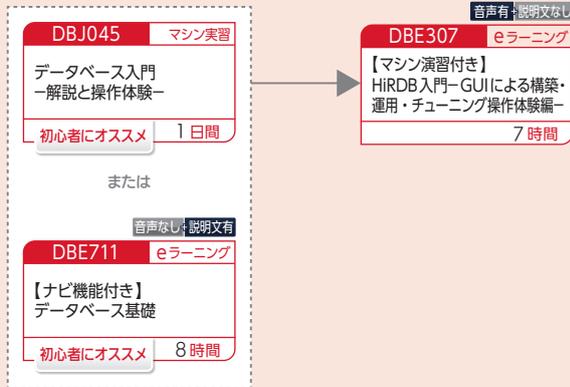
内容

1. 性能設計と性能検証
2. 性能設計
3. 性能検証とチューニング
4. 修了試験

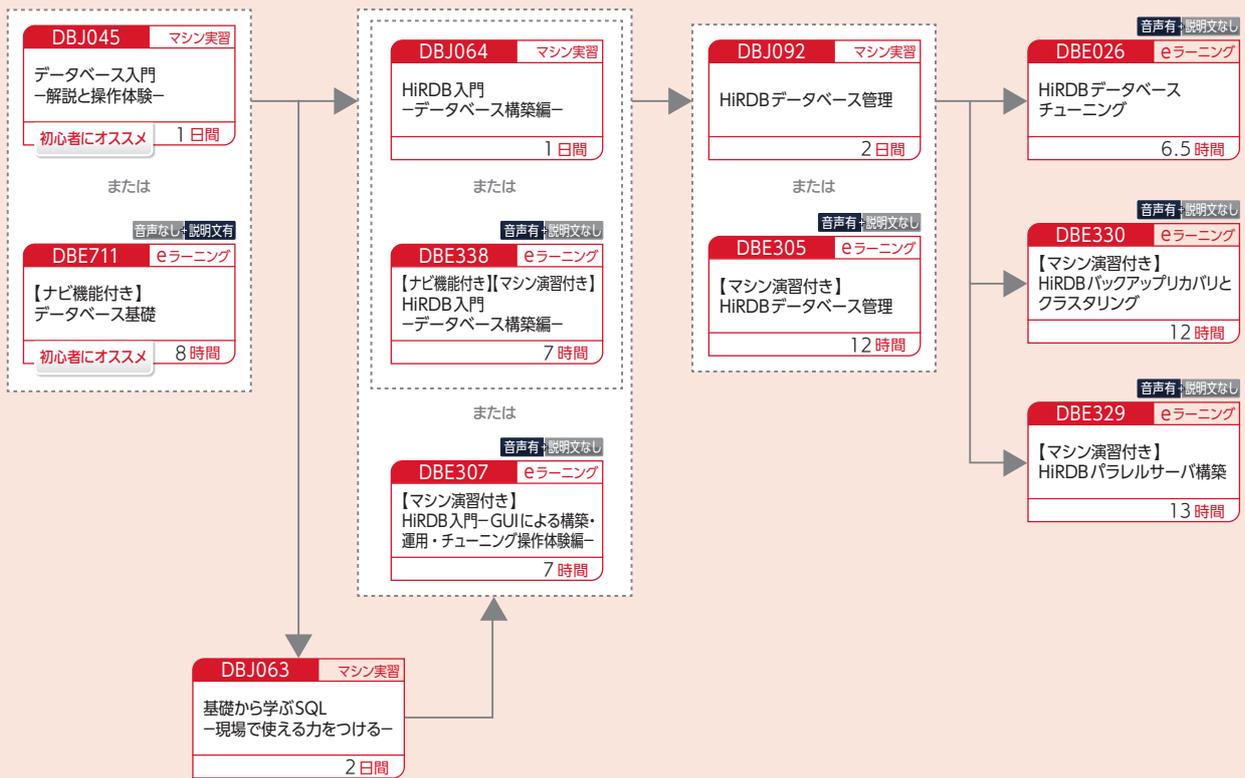
備考

- ・終了日は9月30日になります。
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- ・このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践3ー性能設計・性能対策ー」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

● HiRDBが提供するGUIツールの操作概要を修得したい方



● HiRDBを使用してデータベースを構築・運用する方



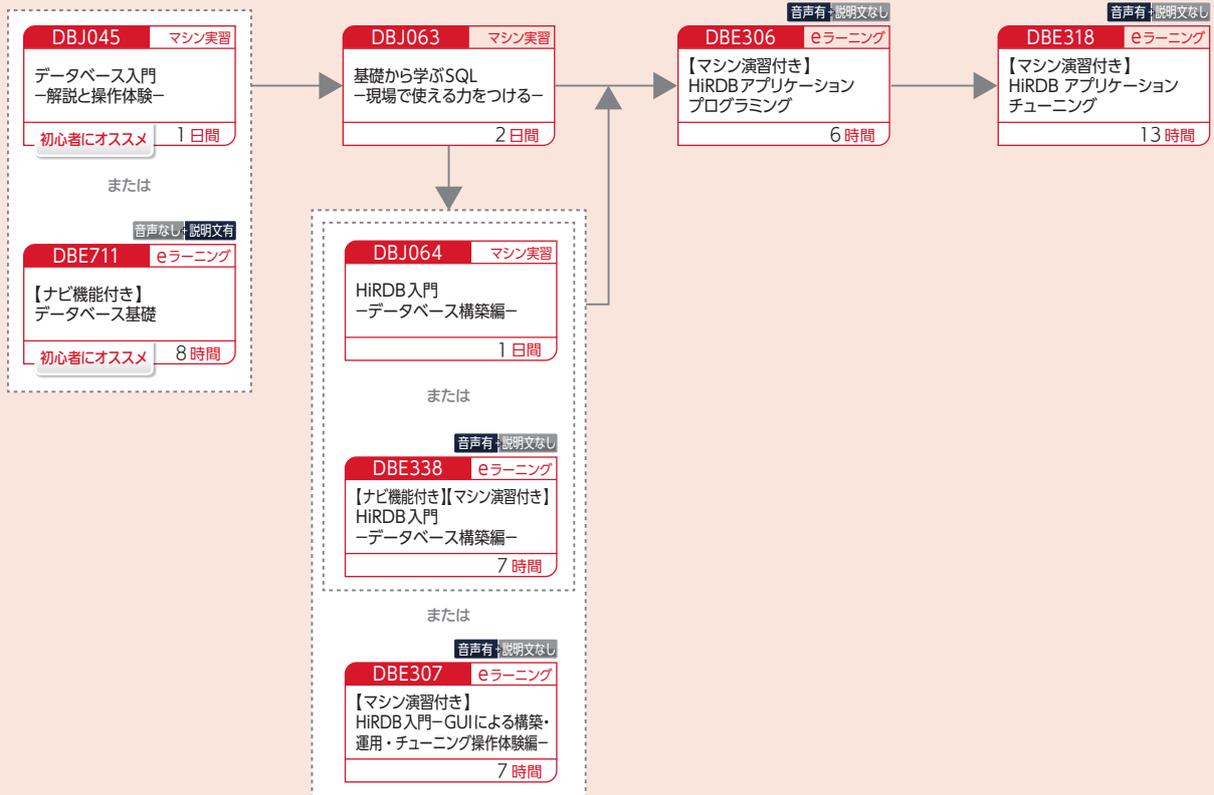
音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

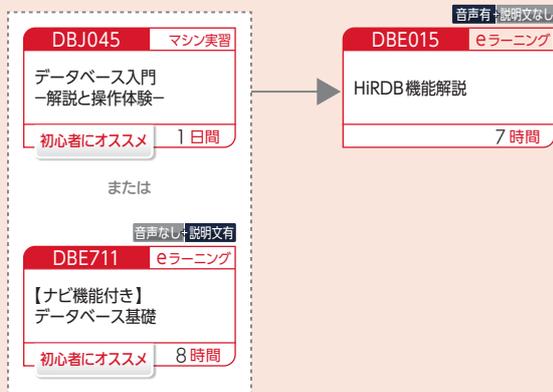
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● HiRDBにアクセスするアプリケーションプログラムを開発する方



● HiRDBの機能概要を修得したい方



音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有 ; 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし ; 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

DBJ064 HiRDB

HiRDB入門
-データベース構築編-

1日間

HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャや、HiRDBにおけるユーザ・表・インデックスの概念、およびその定義方法に関する基礎知識を学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。

到達目標

- HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
- 定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者 HiRDBシステムの基礎的な知識を必要とする方、現在HiRDBの導入を検討している方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- HiRDBの概要
- HiRDBインストール
- HiRDB環境設定
- HiRDBの開始と終了
- ユーザの作成
- スキーマの作成
- 表の作成
- インデックスの作成

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。

DBE338 HiRDB

<eラーニング>
【ナビ機能付き】【マシン演習付き】
HiRDB入門-データベース構築編-

平均7時間

HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャやHiRDBにおけるユーザ・表・インデックスに関する基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。

到達目標

- HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
- 定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅HiRDB初学者の方で、データベース構築を基礎から学習したい方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- HiRDBの概要
- HiRDBのインストール
- HiRDBの環境設定
- HiRDBの開始と終了
- ユーザの作成
- スキーマの作成
- 表の作成
- インデックスの作成
- 修了試験

備考

- サービス有効期限は21日間です。
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- 学習教材は講義収録型コンテンツで提供します。
- テキストや演習問題資料などは、PDFファイルで提供します。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- 集合研修「HiRDB入門-データベース構築-」コースと同一内容です。

DBE307 HiRDB

<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDB入門-GUIによる
構築・運用・チューニング操作体験編-

平均7時間

HiRDBのGUIツールによる操作体験を通して、HiRDBの環境構築から運用・チューニングまでの概要を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- 各種GUIツールの概要を理解し説明できる。
- HiRDBの構築から運用・チューニングまでの概要を理解し説明できる。

対象者 HiRDBを使用したシステムの提案・構築・運用・アプリケーション開発に携わる方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- HiRDBの概要
- HiRDBのアーキテクチャ
- データベースの構築
- HiRDBの開始/終了
- ユーザ管理
- 表とインデックスの作成
- データロード
- RDエリアのメンテナンス
- パフォーマンスチューニング
- バックアップ/リカバリオプション
- 修了試験

備考

- サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、旧「HiRDB入門-GUIによる構築・運用・チューニング操作体験-」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE015 HiRDB

<eラーニング>
HiRDB機能解説

平均7時間

HiRDBの特長、システム構成およびデータベース活用のための各種機能について学習します。

到達目標

- HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
- HiRDBシステムの各種機能の概要を理解し説明できる。

対象者 HiRDBシステムの設計・運用を行う方、HiRDBシステムの導入を検討している方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 並列データベースの技術
- HiRDBの概要
- データベースの構造
- HiRDBの各種機能
- 修了試験

備考

- 終了日は9月30日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ092 HiRDB

HiRDBデータベース管理

2日間

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を学習します。

到達目標

- HiRDBシステムの設計を行える。
- HiRDBのコマンドを用いHiRDBシステムを構築できる。
- HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- HiRDBのアーキテクチャ
- 構築と運用要件の確認
- データベース設計
- データベース構築
- データベースセキュリティ
- データベースの運用と保守
- トラブルシューティング

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、「HiRDBプラットフォームエンジニアデータベース管理-」コースの名称を変更したものです。

DBE305 HiRDB

<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDBデータベース管理

平均12時間

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- HiRDBシステムの設計を行える。
- HiRDBのコマンドを用い、HiRDBシステムを構築できる。
- HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

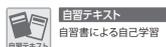
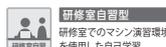
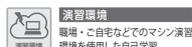
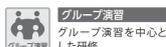
前提知識 「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- HiRDBのアーキテクチャ
- 構築と運用要件の確認
- データベース設計
- データベース構築
- データベースセキュリティ
- データベースの運用と保守
- トラブルシューティング
- 修了試験

備考

- サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、集合研修「HiRDBデータベース管理」コース(DBJ092)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDB プラットフォームエンジニアデータベース管理-」コースの名称を変更したものです。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。



DBE306 HiRDB

<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDB アプリケーションプログラミング

平均6.5時間

HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発するために必要な知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 各種アプリケーション開発技術を用い、HiRDBにアクセスするアプリケーションを作成できる。

対象者 HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL—現場で使える力をつける—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. HiRDBのアーキテクチャ
 2. HiRDBのアプリケーションプログラミング概要
 3. 表のデータ型
 4. アプリケーションプログラムの美装
 5. ストアドプロシージャ、ストアドファンクションとトリガー
 6. データベースセキュリティ
 7. 修了試験

備考 ・サービス有効期限は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・このコースは、集合研修「HiRDBアプリケーションプログラミング」コース(DBJ093)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDBアプリケーションエンジニアデータベースプログラミング」コースの名称を変更したものです。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE026 HiRDB

<eラーニング>
HiRDBデータベースチューニング

平均6.5時間

HiRDBを効率良く運用するために必要なパフォーマンス診断や、チューニング方法を学習します。

到達目標 HiRDBサーバ上の各種要素に対するパフォーマンス診断、チューニング方針を理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのパフォーマンスチューニングの知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. パフォーマンスチューニング概要
 2. データベース設計
 3. グローバルバッファのチューニング
 4. ログバッファのチューニング
 5. SQLオブジェクトバッファのチューニング
 6. 修了試験

備考 ・終了日は9月30日になります。
 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE318 HiRDB

<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDB アプリケーションチューニング

平均13時間

HiRDBに適した処理効率の良い業務アプリケーションの開発技術や、アプリケーションのパフォーマンス診断およびチューニング方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 ・応用的なSQLを用い、HiRDBを効率的に使用するための技術を実装できる。
 ・HiRDBに接続するアプリケーションの、パフォーマンス診断、チューニング作業を行える。

対象者 HiRDBにアクセスする処理効率の良いアプリケーションの開発技術が必要とする方。

前提知識 「【マシン演習付き】HiRDBアプリケーションプログラミング」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. SQLコーディングテクニック
 (1) 応用的なSQL
 (2) APの保守性/性能を高めるためのSQLの書き方
 2. 排他制御
 (1) 排他制御の概要 (2) Isolationレベルの制御
 (3) デッドロック対策
 3. アクセス効率の良いアプリケーションプログラムの作成
 (1) アクセスパス (2) SQLとインデックス
 (3) SQL最適化
 4. SQLチューニング
 (1) 統計情報の収集 (2) SQLチューニング
 (3) HiRDB SQL Tuning Advisorを使用したSQLチューニング
 5. 修了試験

備考 ・サービス有効期限は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・このコースは、集合研修「HiRDBアプリケーションチューニング」コース(DBJ095)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE330 HiRDB

<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング

平均12時間

HiRDBを安定して運用するための技術や、各種障害に応じたリカバリ方法およびクラスタリング(系切り替え)技術を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 ・HiRDBシステムに対する各種バックアップ・リカバリ作業を行える。
 ・HiRDBシステムに対するクラスタリング技術の概要を理解し、説明できる。

対象者 HiRDB管理者として障害対策に関する知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. バックアップリカバリとクラスタリングの概要
 2. バックアップリカバリにあたっての基礎知識
 3. データベースのバックアップ
 4. データベースのリカバリ
 5. システムファイルの障害対処
 6. クラスタリングの概要
 7. クラスタリング環境の構築と運用
 8. 修了試験

備考 ・サービス有効期限は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・マシン演習は、Microsoft Windows環境で行います。
 ・クラスタリングに関するマシン演習はありません。
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE329 HiRDB

<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDBパラレルサーバ構築

平均13時間

HiRDB/パラレルサーバを使ったHiRDBシステムの構築や運用に必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 ・HiRDB/パラレルサーバシステムの物理設計ができる。
 ・HiRDB/パラレルサーバシステムの構築ができる。
 ・HiRDB/パラレルサーバシステムが持つ機能について理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としてHiRDB/パラレルサーバシステムの構築に関する知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

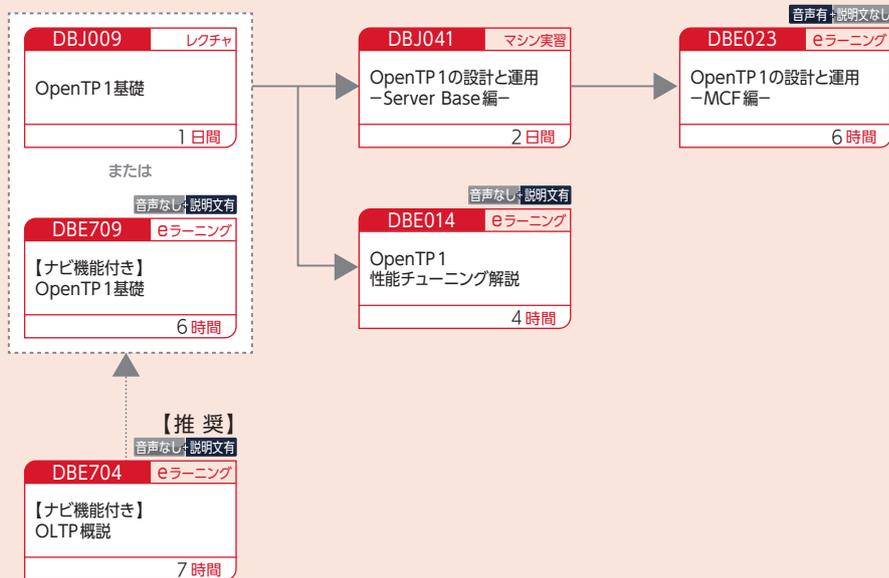
内容 1. HiRDB/パラレルサーバのアーキテクチャ
 (1) HiRDB/パラレルサーバの構成 (2) HiRDB/パラレルサーバの特長
 (3) HiRDB/パラレルサーバの採用基準
 2. 要件確認
 (1) 要件確認の目的 (2) 要件確認項目一覧
 (3) 項目の確認および調査
 (4) BES数見積もりに必要な項目の確認および調査
 3. BESとFESの配置方針と必要台数の見積り
 (1) 基本的なサーバの配置方針
 (2) BESの配置および必要台数の決定
 (3) FESの配置および必要台数の決定
 4. リソースの配置方針と容量見積り
 (1) リソースの配置方針 (2) 容量見積り
 5. データベース構築
 (1) データベース構築手順
 (2) サーバマシン環境・データベース環境の決定
 (3) システム定義ファイルの作成
 (4) HiRDBファイルシステム領域の作成 (5) システムファイルの作成
 (6) RDエリアの作成とHiRDBシステムの開始 (7) 表の定義
 6. HiRDB/パラレルサーバのその他の機能
 (1) 高性能を実現するHiRDB/パラレルサーバの機能
 (2) HiRDB/パラレルサーバシステムにおけるHAクラスタ
 7. 修了試験

備考 ・サービス有効期限は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OpenTP1

TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

● OpenTP1を使用してOLTPシステムを構築・運用・設計する方



音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

DBJ009	OpenTP1
	OpenTP1基礎
1日間	
OLTPシステムの構築に必要なOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・トランザクションの定義を説明できる。 ・OLTPを説明できる。 ・OpenTP1の機能を説明できる。
対象者	OpenTP1システムを構築・管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。
前提知識	OS、データベースおよびネットワークの基礎知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. OLTPの基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> (1) クライアントサーバシステム (2) OLTPの基礎知識 (3) インターネット連携 2. OpenTP1の機能 <ol style="list-style-type: none"> (1) アプリケーション間の通信形態 (2) リモートプロシジャコール (RPC) (3) メッセージ送受信形態 (4) メッセージキューイング形態 (5) OpenTP1のプロセス制御 (6) トランザクション制御 3. OpenTP1の日常的な運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) システムファイル (2) OpenTP1の開始および終了
備考	このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

DBE709	OpenTP1
	<eラーニング>【ナビ機能付き】 OpenTP1基礎
平均6時間	
OLTPシステムを構築するにあたり必要となるOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能について学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・トランザクションの特徴とOLTPについて理解し説明できる。 ・OpenTP1の役割、構成、機能について理解し説明できる。
対象者	OpenTP1システムを構築及び管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。
前提知識	「【ナビ機能付き】OLTP概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. OLTPの基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> (1) クライアントサーバシステム (2) OLTPの基礎知識 (3) OpenTP1の特徴 (4) インターネット連携 2. OpenTP1の機能 <ol style="list-style-type: none"> (1) アプリケーション間の通信形態 (2) リモートプロシジャコール (3) メッセージ送受信形態 (4) メッセージキューイング形態 (5) OpenTP1のプロセス制御 (6) トランザクション制御 (7) OpenTP1のソフトウェア製品 3. OpenTP1の日常的な運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) システムファイル (2) OpenTP1の運用 4. 修了試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・終了日は9月30日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ041	OpenTP1
	OpenTP1の設計と運用 —Server Base編—
2日間	
OpenTP1によるOLTPシステムの構築に必要なOpenTP1のシステムの作成、運用方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・OpenTP1のコマンドを用いOpenTP1システムを構築できる。 ・OpenTP1システムの基本的な管理ができる。
対象者	OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。
前提知識	「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. OpenTP1の概要 2. OpenTP1システム構築 3. システムファイルの作成 4. システム定義の作成 5. リソースマネージャの登録 6. OpenTP1の運用 7. ユーザーバの設定と運用 8. システムファイルの障害対策 9. OpenTP1クライアントの設定
備考	このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

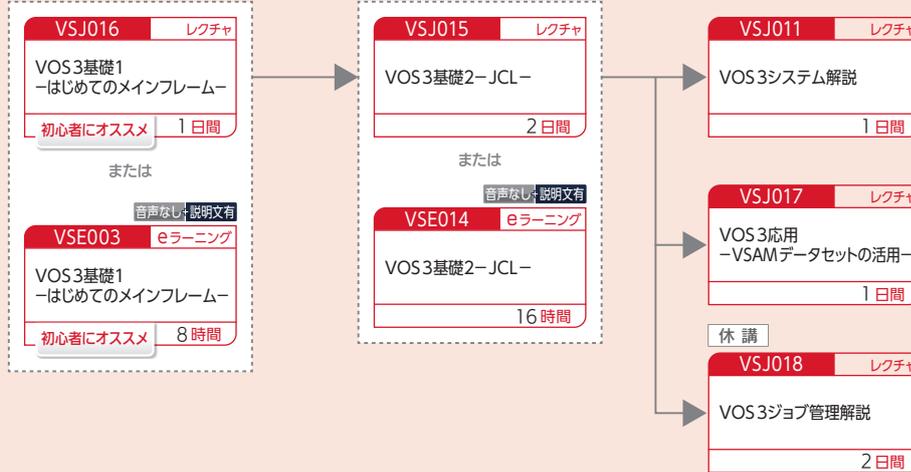
DBE023	OpenTP1
	<eラーニング> OpenTP1の設計と運用 —MCF編—
平均6時間	
MCFを使用するOpenTP1のシステムの作成、運用方法について学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・OpenTP1のコマンドを用い、MCFの機能を実装したOpenTP1システムを構築できる。 ・MCFの機能を実装したOpenTP1システムの基本的な管理作業ができる。
対象者	OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。
前提知識	「OpenTP1設計と運用—Server Base編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. メッセージ送受信形態 2. OpenTP1システムの構築 3. ネットワークコミュニケーション定義の作成 4. OpenTP1の運用 5. 修了試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・終了日は9月30日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE014	OpenTP1
	<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説
平均4時間	
OpenTP1における性能見積の考え方と、さまざまな性能チューニング方法について学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・OpenTP1における性能見積の考え方を理解し説明できる。 ・さまざまな性能チューニング方法を理解し説明できる。
対象者	OpenTP1システムを管理する方。
前提知識	「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. OpenTP1の通信性能 2. OpenTP1のトランザクション性能 3. OpenTP1のプロセス・メモリ性能 4. OpenTP1の性能全般 5. 修了試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・終了日は9月30日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

VOS3/VOS1/VOSK

日立メインフレーム OSである VOS3、VOS1、VOSKの使用方
法や機能、システム運用管理技
術が修得できます。

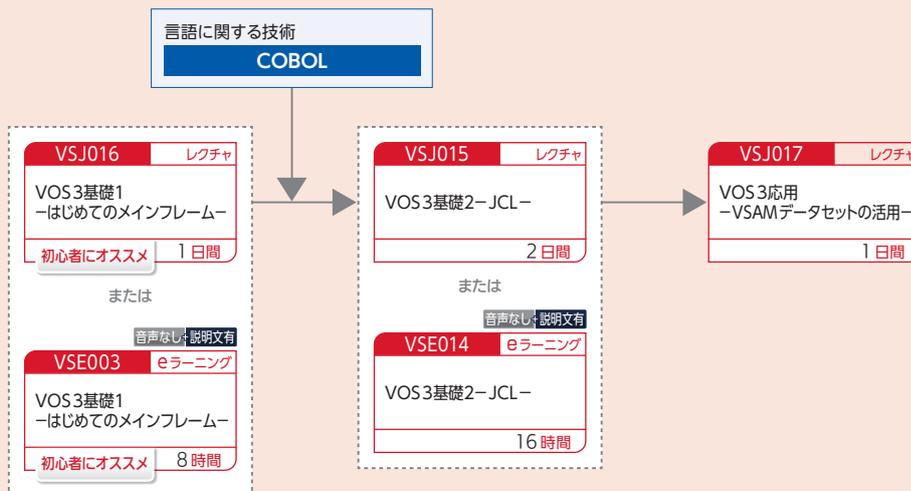
● VOS3システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS1システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS3システムでアプリケーションを開発する方



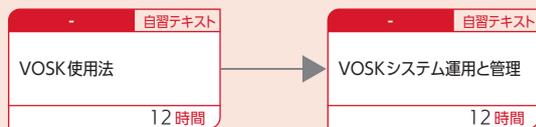
- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● VOS1システムでアプリケーションを開発する方



● VOSKシステムの運用設計および実装・運用する方



- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

VOS3/VOS1/VOSK

オペレーティングシステム入門
(自習テキスト)

平均15時間

オペレーティングシステムの基本概念、構成要素とその機能、およびハードウェアの関連知識を学習します。

到達目標

- ・オペレーティングシステムの目的や構成を説明できる。
- ・プログラムの翻訳、結合・編集を説明できる。
- ・入力リーダー、ジョブスケジューラ、出力ライタの役割が説明できる。
- ・入出力装置、ポリウム、データセットを説明できる。
- ・ファイル編成とアクセス方法を説明できる。
- ・マルチプログラミングのしくみを説明できる。

対象者 VOS3およびVOS1システムのシステム設計、またはプログラミングを行う方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. オペレーティングシステムとはなにか
2. プログラムの翻訳、結合・編集
3. ジョブの実行過程
4. データ入出力のしくみ
5. マルチプログラミングのしくみ

備考

- ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

VSJ016 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3基礎1
-はじめてのメインフレーム-

1日間

メインフレームシステムの構成要素(ハードウェア/ソフトウェア)、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標

- ・メインフレームシステムの概要を説明できる。
- ・メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

VSE003 VOS3/VOS1/VOSK

<eラーニング>
VOS3基礎1
-はじめてのメインフレーム-

平均8時間

メインフレームシステムの構成要素(ハードウェア/ソフトウェア)、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標

- ・メインフレームシステムの概要を説明できる。
- ・メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能
6. 修了試験

備考

- ・終了日は9月30日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます)
- ・このコースは、集合研修「VOS3基礎1-はじめてのメインフレーム-」コース(VSJ016)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

VSJ015 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3基礎2-JCL-

2日間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL(ジョブ制御文)や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標

- ・JCL(ジョブ制御文)の役割を説明できる。
- ・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- ・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL(ジョブ制御文)を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1-はじめてのメインフレーム-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JCL(ジョブ制御文)の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
 - (1) JOB文
 - (2) EXEC文
 - (3) DD文
4. システムメッセージリストの見方

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)と同等の内容です。すでにご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。

VSE004 VOS3/VOS1/VOSK

<eラーニング>
VOS3基礎2-JCL-

平均16時間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL(ジョブ制御文)や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標

- ・JCL(ジョブ制御文)の役割を説明できる。
- ・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- ・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL(ジョブ制御文)を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1-はじめてのメインフレーム-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JCL(ジョブ制御文)の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
 - (1) JOB文
 - (2) EXEC文
 - (3) DD文
4. システムメッセージリストの見方
5. 修了試験

備考

- ・終了日は9月30日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)、または「VOS3基礎2-JCL-」コース(VSJ015)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

VSJ011 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3システム解説

1日間

VOS3システムを管理するために必要となるVOS3の基礎知識や機能を学習します。

到達目標

- ・VOS3システムの処理形態を説明できる。
- ・仮想空間の構成について説明できる。
- ・仮想空間と記憶装置(主記憶・補助記憶)の関係を説明できる。
- ・TRUSTの機能について説明できる。
- ・システム運用の自動化機能について説明できる。

対象者 VOS3システムを管理する方。

前提知識 「VOS3基礎2-JCL-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。VOS3の利用経験が2年以上あると、より理解が深まります。

内容

1. VOS3の概要
2. 各種処理形態
 - (1) パッチ
 - (2) TSS
 - (3) DB/DC
3. 仮想記憶装置のしくみ
4. データ処理の高速化機能
 - (1) LPAの利用
 - (2) XPL
 - (3) VSAM HAF
 - (4) VIO
 - (5) SAM ESF
5. セキュリティ管理機能(TRUST)
6. システム運用の自動化機能
 - (1) AOMPLUS
 - (2) HOPSS3
 - (3) JP1との連携

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

	VOS3/VOS1/VOSK
	VOS3応用 -VSAMデータセットの活用-
1日間	
VOS3システムを管理、およびVOS3システムでアプリケーションプログラムを開発するうえで必要となるVSAMの基礎知識や機能を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・VSAMデータセットの特長を説明できる。 ・VSAMユーティリティの機能を説明できる。 ・ライブラリ管理システム LIME E2の機能を説明できる。 ・カタログの役割、機能を説明できる。
対象者	VOS3システムの運用を行う方、VOS3システムでアプリケーションの開発を行う方。
前提知識	「VOS3基礎2-JCL-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. データセットとディスクボリューム 2. VSAMデータセットの特長 3. ライブラリ管理システム LIME E2の機能 4. データセットのカタログ機能 5. VSAMユーティリティの機能
備考	このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

	VOS3/VOS1/VOSK	休講
	VOS3ジョブ管理解説	
2日間		
VOS3のシステム管理をするために必要となるJSS3の機能と設定方法を学習します。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・JSS3の機能を説明できる。 ・JSS3の起動の流れや仕組みを説明できる。 ・ジョブ入出力に関するパラメタを説明できる。 ・ジョブの実行スケジュールに関するパラメタを説明できる。 	
対象者	VOS3システムの運用管理に携わる方。	
前提知識	「VOS3基礎2-JCL-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. JSS3の概要 2. JSS3の起動と初期設定 <ol style="list-style-type: none"> (1) JSS3起動用カタログプロシジャ (2) JSS3初期設定パラメタ 3. ジョブの実行管理 <ol style="list-style-type: none"> (1) ジョブの流れ (2) ジョブの入力 (3) ジョブの実行スケジュール (4) ジョブの実行制御 (5) ジョブ結果の出力 (6) スプールとジョブキューの管理 	
備考	このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。	
	※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。	

	VOS3/VOS1/VOSK
	VOS1使用法 (自習テキスト)
平均12時間	
VOS1のワークステーションを使ったプログラム作成、ジョブ作成、ジョブの実行、ライブラリ操作、ファイル操作およびパネル作成について、その方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークステーションの操作ができる。 ・プログラムの作成ができる。 ・JCLプロシジャの作成ができる。 ・ジョブの実行ができる。 ・メンバの操作ができる。 ・ファイルの操作ができる。 ・パッチジョブの実行ができる。 ・パネルの作成ができる。
対象者	VOS1を使用してワークステーションからジョブを実行する方。
前提知識	「オペレーティングシステム入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワークステーションの操作 2. プログラムの作成 3. JCLプロシジャの作成 4. ジョブの実行 5. メンバの操作 6. ファイルの操作 7. パッチジョブの実行 8. パネルの作成
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

	VOS3/VOS1/VOSK
	VOS1機能解説 (自習テキスト)
平均12時間	
VOS1システムを運用するために必要となるOSの諸機能と、その設定方法、ボリュームやファイルの運用方法、およびシステムの操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブの実行環境の設定ができる。 ・対話処理環境の設定ができる。 ・ボリュームとファイルの運用ができる。 ・システムの操作ができる。
対象者	VOS1システムを運用・管理する方。
前提知識	「VOS1使用法」自習テキストコースを修了し、かつOJTを経験しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジョブの実行環境の設定 2. 対話処理環境の設定 3. ボリュームとファイルの運用 4. システムの操作
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

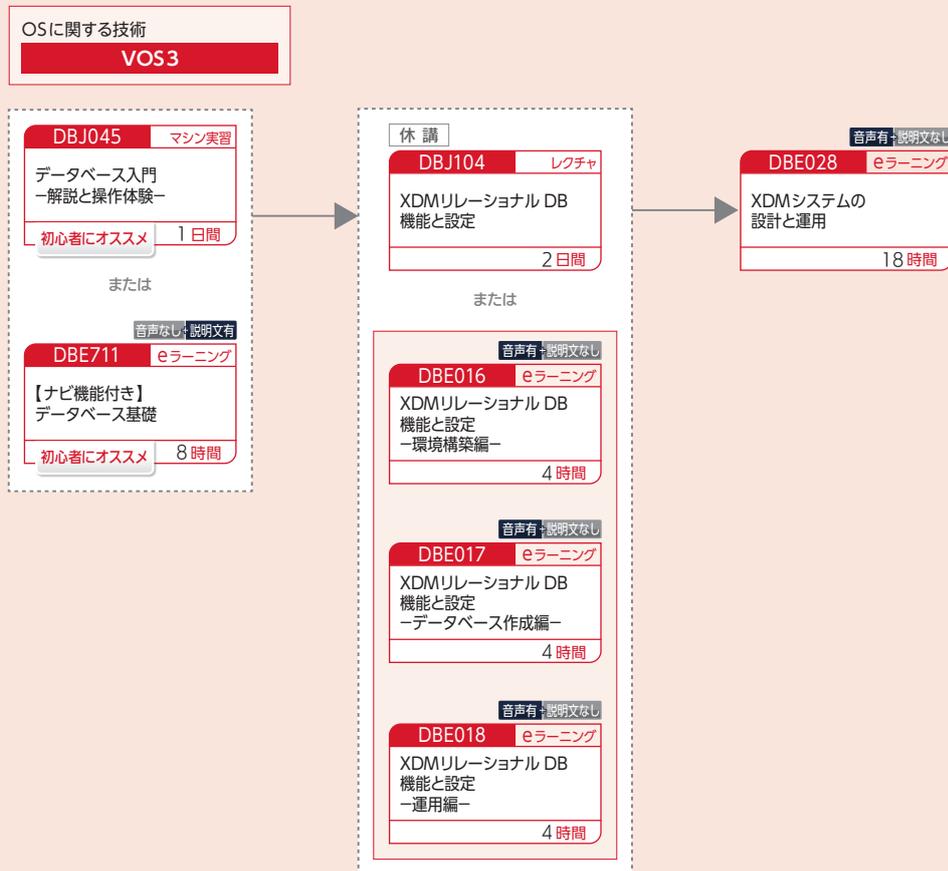
	VOS3/VOS1/VOSK
	VOSK使用法 (自習テキスト)
平均12時間	
VOSKの基本的な操作方法、ワークステーションを使ったジョブ作成、ジョブの実行、ファイル操作等を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・VOSKシステムの概要を説明できる。 ・VOSKの基礎知識を説明できる。 ・ワークステーションの基本操作ができる。 ・ファイルの取扱いができる。 ・ジョブの作成と実行ができる。 ・ジョブの実行結果の出力ができる。
対象者	VOSKを使用してワークステーションからジョブを実行する方。
前提知識	コンピュータに関する基礎知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. VOSKシステムの概要 2. VOSKの基礎知識 3. VOSKでの業務の開始と終了 (ワークステーションの基本操作) 4. ファイルの取扱い 5. ジョブの作成と実行 6. ジョブの実行結果の出力
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

	VOS3/VOS1/VOSK
	VOSKシステム運用と管理 (自習テキスト)
平均12時間	
VOSKシステムの機能を理解し、利用者管理、DB管理、ジョブ実行環境の管理、およびシステム全体の管理ができるために必要な知識を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの運用と管理の概要を説明できる。 ・使用者管理ができる。 ・ファイルシステムの運用と管理ができる。 ・ジョブ実行環境の設定ができる。 ・システムの操作ができる。 ・システムの管理ができる。
対象者	VOSKシステム全体を運用管理する方。
前提知識	「VOSK使用法」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. システムの運用と管理の概要 2. 使用者管理 3. ファイルシステムの運用と管理 4. ジョブ実行環境の設定 5. システムの操作 6. システムの管理
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

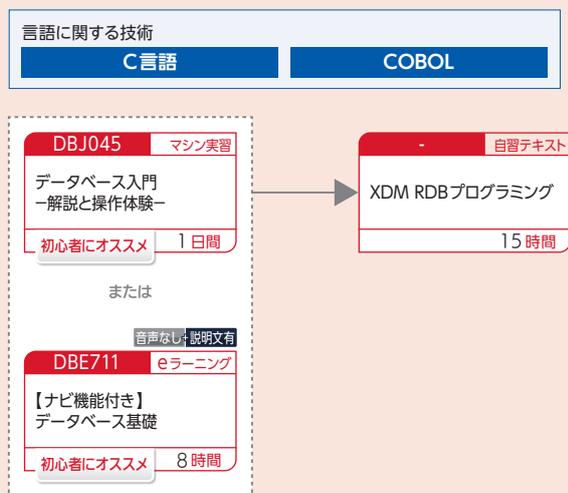
XDM / PDM II

日立メインフレーム DB/DCであるXDM、PDMIIの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

● XDMを使用してリレーショナルデータベースを構築・運用・設計する方



● XDMリレーショナルデータベースを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



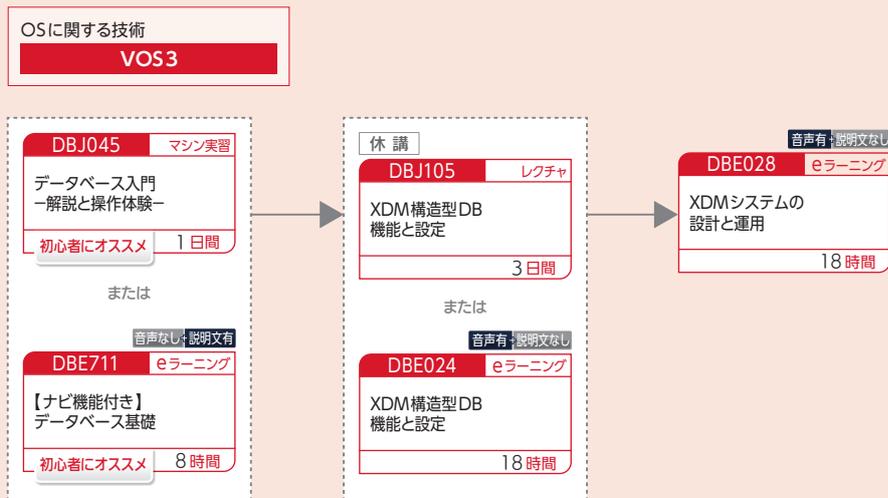
音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

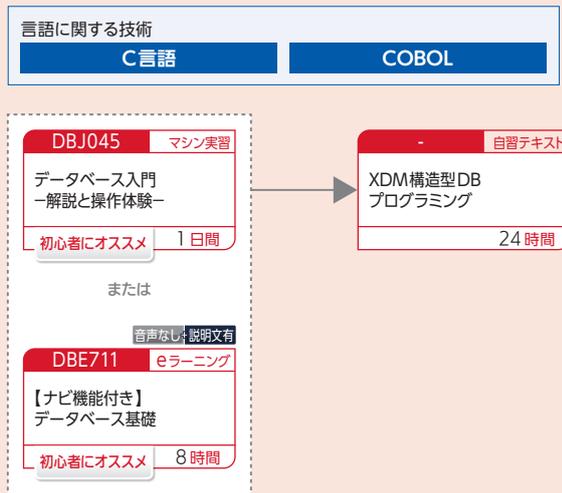
音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

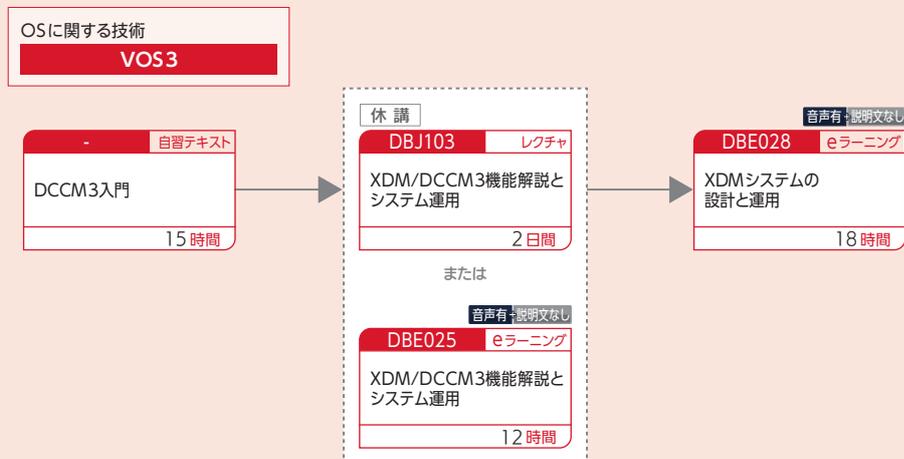
● XDMを使用して構造型データベースを構築・運用・設計する方



● XDM構造型データベースを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



● XDM/DCCM3オンラインシステムを構築・運用・設計する方



音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

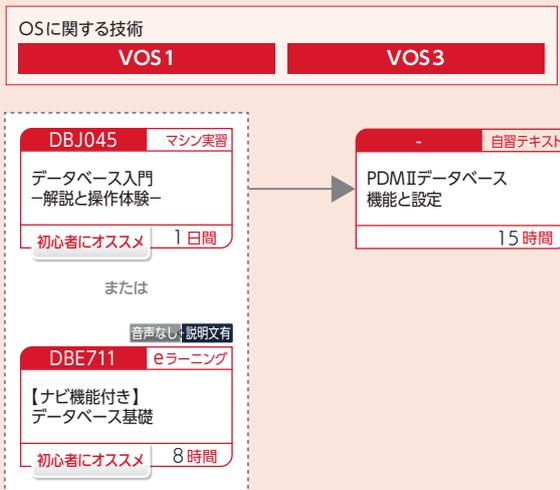
音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

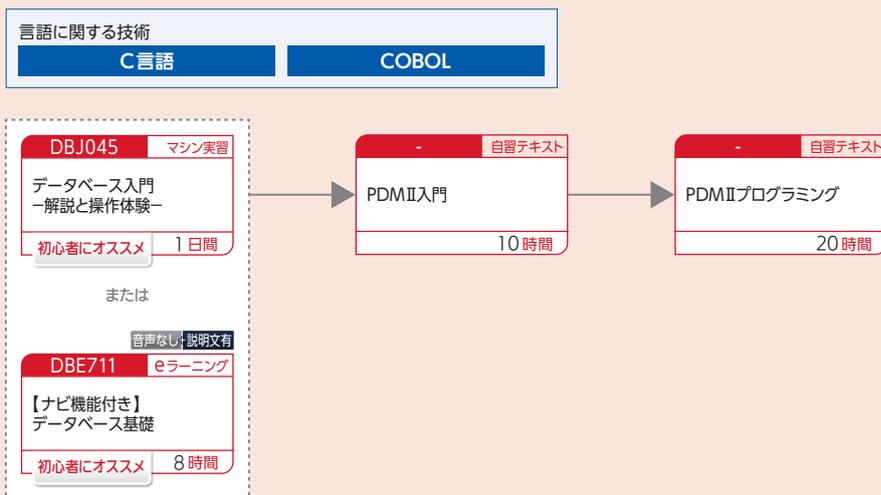
● XDM/DCCM3オンラインシステムを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



● PDMIIデータベースを構築・運用する方



● PDMIIを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有;説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

DBE016	XDM/PDMII
 <eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 —環境構築編—	
平均4時間	
XDMリレーショナルデータベース(XDM/RD)システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するのに必要な定義方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 論理構造と物理構造を理解し説明できる。 RD初期設定ユーティリティで設定するオペランドを理解し説明できる。
対象者	XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> XDMシステムの概要 データベースの論理構造と物理構造 <ol style="list-style-type: none"> データベースの論理構造 データベースの物理構造 XDM/RDシステムの作成 <ol style="list-style-type: none"> XDM/RDシステムの作成手順 XDM/RDシステムの作成の準備 XDM/RDシステムの環境設定 修了試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> 終了日は9月30日になります。 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE017	XDM/PDMII
 <eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 —データベース作成編—	
平均4時間	
XDMリレーショナルデータベースシステム(XDM/RD)を構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 論理構造と物理構造を理解し説明できる。 表およびインデクスを定義に必要なオペランドを理解し説明できる。
対象者	XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> XDMシステムの概要 データベースの論理構造と物理構造 <ol style="list-style-type: none"> データベースの論理構造 データベースの物理構造 データベースの作成 <ol style="list-style-type: none"> 表の定義 インデクスの定義 データの初期ロードとインデクスの作成 ビュー表の定義 修了試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> 終了日は9月30日になります。 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE018	XDM/PDMII
 <eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 —運用編—	
平均4時間	
XDMリレーショナルデータベース(XDM/RD)システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するのに必要な定義方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 機密保護、排他制御を理解し説明できる。 バッチUAP用ユーザ空間の起動制御文に必要なオペランドを理解し説明できる。
対象者	XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> XDMシステムの概要 データベースの定義と作成 <ol style="list-style-type: none"> データベースの論理構造 データベースの物理構造 データベースの管理と保守 <ol style="list-style-type: none"> データディクショナリ 機密保護 排他制御 データベースの運用 <ol style="list-style-type: none"> XDM/RDシステムの起動と停止 データベースの再編成 修了試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> 終了日は9月30日になります。 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ104	XDM/PDMII
 <eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定	
平均18時間	
XDMリレーショナルデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 論理構造と物理構造を理解し、説明できる。 表およびインデクスを定義できる。 機密保護、排他制御を理解し、説明できる。 バッチUAP用ユーザ空間を起動できる。
対象者	XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> XDMシステムの概要 データベースの定義と作成 <ol style="list-style-type: none"> データベースの論理構造 データベースの物理構造 XDM/RDシステムの作成 データベースの管理と保守 <ol style="list-style-type: none"> データディクショナリ 機密保護 排他制御 データベースの運用 <ol style="list-style-type: none"> XDM/RDシステムの起動と停止 データベースの再編成
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。</p>

DBE024	XDM/PDMII
 <eラーニング> XDM構造型DB機能と設定	
平均18時間	
XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。 データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。 データベースの構造変更等の保守ができる。
対象者	XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> XDMシステムの概要 データベースの論理構造とデータ操作 データベースの格納構造と定義 データベースの物理構造と定義 プログラムからのデータベース利用 <ol style="list-style-type: none"> 仮想構造 データベースの操作機能 データベースの作成と保守 データベースの管理 <ol style="list-style-type: none"> 排他制御 コミット(同期点)処理 データベースの障害回復
備考	<ul style="list-style-type: none"> 終了日は9月30日になります。 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ105	XDM/PDMII
 <eラーニング> XDM構造型DB機能と設定	
平均18時間	
XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。 データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。 データベースの構造変更等の保守ができる。
対象者	XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> XDMシステムの概要 データベースの論理構造とデータ操作 データベースの格納構造と定義 データベースの物理構造と定義 プログラムからのデータベース利用 <ol style="list-style-type: none"> 仮想構造 データベースの操作機能 データベースの作成と保守 データベースの管理 <ol style="list-style-type: none"> 排他制御 コミット(同期点)処理 データベースの障害回復
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。</p>

DBE025	XDM/PDMII
	<eラーニング> XDM/DCCM3機能解説と システム運用
平均12時間	
XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。	
到達目標	・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し、機能設定できる。 ・トランザクション定義ができる。
対象者	XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。
前提知識	「DCCM3入門」、「DCCM3プログラミング」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. XDMシステムの概要 2. メッセージ制御 (1) メッセージ受信/送信処理 (2) UAPのローディング方式 (3) メッセージ編集など 3. オンラインの運用 (1) XDMシステムの開始と終了 (2) センタ運用 (3) 端末運用 4. XDM/DCCM3システム定義例
備考	・終了日は9月30日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ103	XDM/PDMII
	XDM/DCCM3機能解説と システム運用
2日間	休講
XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。	
到達目標	・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。 ・トランザクション定義ができる。
対象者	XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。
前提知識	「DCCM3入門」、「DCCM3プログラミング」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. XDMシステムの概要 2. メッセージ制御 (1) メッセージ受信/送信処理 (2) UAPのローディング方式 (3) メッセージ編集など 3. オンラインの運用 (1) XDMシステムの開始と終了 (2) センタ運用 (3) 端末運用 4. XDM/DCCM3システム定義例
備考	・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

DBE028	XDM/PDMII
	<eラーニング> XDMシステムの設計と運用
平均18時間	
XDMによるオンラインシステムを構築、運用する際に必要な効果的なシステムの定義方法や運用の手順、およびそれらの作業方法を学習します。	
到達目標	・XDM空間を起動できる。 ・オンラインのさまざまなオプションを選択し性能改善できる。 ・センタ運用のさまざまなオプションを選択し省力化が図れる。
対象者	XDMシステムの管理者としてシステムの定義作成や運用をする方。
前提知識	「XDM構造型DB機能と設定」コース、または「XDMリレーショナルDB機能と設定」eラーニングコース(3コースすべて)と、「XDM/DCCM3機能解説とシステム運用」コースを修了し、かつVOS3の各種用語や機能についての知識があること。
内容	1. 概要 2. XDMシステムの構築と運用 (1) XDM運用のポイント 3. XDMシステムの管理を支援するツール (1) XDM/AOF E2 (2) XDM/PAF 4. XDMの設計指針 (1) 性能設計 (2) 信頼性設計 (3) DB設計 (4) DC設計
備考	・終了日は9月30日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

-	XDM/PDMII
	XDM RDBプログラミング (自習テキスト)
平均15時間	
XDMリレーショナルDBを使用した業務プログラムを作成する際に必要なデータベースの検索、更新等の操作方法およびプログラムのコーディング方法を学習します。	
到達目標	・リレーショナルデータベースの特長とデータ操作上の留意点を説明できる。 ・検索処理プログラムを作成できる。 ・更新処理プログラムを作成できる。 ・追加/削除処理プログラムを作成できる。
対象者	XDMリレーショナルDBを使用する業務プログラムを開発する方。
前提知識	COBOL言語を修了し、かつXDMリレーショナルDBの基礎知識があること。
内容	1. リレーショナルデータベースの特長とデータ操作上の留意点 2. 検索処理プログラムの作成方法 3. 更新処理プログラムの作成方法 4. 追加、削除処理プログラムの作成方法
備考	・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

-	XDM/PDMII
	XDM構造型DBプログラミング (自習テキスト)
平均24時間	
XDM構造型DBを使用した業務プログラムを作成する際に必要なデータベースの検索、更新等の操作方法およびプログラムのコーディング方法を学習します。	
到達目標	・構造型データベースの特長とデータ操作上の留意点を説明できる。 ・検索処理プログラムを作成できる。 ・更新処理プログラムを作成できる。 ・切り離し、組入れおよび再組入れ処理プログラムを作成できる。
対象者	XDM構造型DBを使用する業務プログラムを開発する方。
前提知識	COBOL言語を修了し、かつXDM構造型DBの基礎知識があること。
内容	1. 構造型データベースの特長とデータ操作上の留意点 2. 検索処理プログラムの作成方法 3. 更新処理プログラムの作成方法 4. 切り離し、組入れ処理プログラムの作成方法
備考	・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

-	XDM/PDMII
	DCCM3入門(自習テキスト)
平均15時間	
DCCM3またはXDM/DCCM3のオンラインシステムの構築に必要なメッセージ制御機能およびその流れを基礎的用語を中心に学習します。	
到達目標	・DCCM3の目的および特長を説明できる。 ・メッセージの処理方法を説明できる。 ・DCCM3オンラインシステムの障害対策と運用を説明できる。
対象者	DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. DCCM3、XDM/DCCM3の特徴 2. メッセージの処理方法 3. オンラインの運用
備考	・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

XDM/PDMII	
	DCCM3プログラミング (自習テキスト)
平均25時間	
DCCM3、XDM/DCCM3によるオンラインシステムの業務プログラムを作成するにあたり必要なユーザアプリケーションプログラムの作成方法、パネル定義について例を中心に学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> DCCM3とXDM/DCCM3を使用する場合のユーザアプリケーションプログラムでのメッセージ処理の概要を理解し説明できる。 COBOL言語によるユーザアプリケーションプログラムを作成できる。 XMAPを使用したメッセージの基本的な編集ができる。
対象者	DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムの業務プログラムを作成する方。
前提知識	COBOL言語を修了し、かつ「DCCM3入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> DCCM3、XDM/DCCM3の特徴 ユーザアプリケーションプログラムの作成方法 パネル定義
備考	お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

XDM/PDMII	
	PDMII入門 (自習テキスト)
平均10時間	
PDMIIデータベースシステムの構築や運用、あるいはデータベースを利用する際に必要な基礎知識を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> PDMIIシステムのねらいを理解し説明できる。 PDMIIシステムによるデータベースシステムの実現方法を理解し説明できる。 データベース構造を理解し説明できる。 PDMIIシステムが提供する機能を理解し説明できる。
対象者	PDMIIデータベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。
前提知識	「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> PDMIIの基本機能 PDMIIデータベースの構造 データベースの操作機能
備考	お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

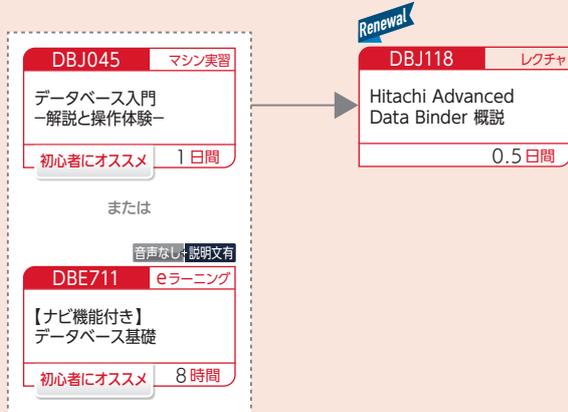
XDM/PDMII	
	PDMIIデータベース機能と設定 (自習テキスト)
平均15時間	
PDMIIデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、またデータベースの管理や維持の方法を紹介します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 論理/物理構造についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。 データベース定義/アクセス定義を定義できる。 運用・管理・生成と保守についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。
対象者	PDMIIデータベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。
前提知識	「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコース、および「PDMII入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> PDMIIデータベースシステムの概要 データベースの論理構造 データベースの物理構造 データベースの定義 アクセス仕様定義 PDMIIシステムの運用 PDMIIシステムの管理 PDMIIシステムの生成と保守
備考	お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

XDM/PDMII	
	PDMIIプログラミング (自習テキスト)
平均20時間	
PDMIIデータベースを作成、検索、更新する業務プログラムの作成方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> PDMIIとプログラムのインターフェースを理解し説明できる。 検索・更新・追加/削除処理プログラムを作成できる。
対象者	PDMIIデータベースを使用した業務プログラムを開発する方。
前提知識	COBOL、PL/IまたはNHELPのいずれかの言語を理解し、かつ「PDMII入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> PDMIIの機能概要 プログラムとPDMIIのインターフェース データベースの作成方法 データベースの検索方法 データベースの更新方法
備考	お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

Hitachi Advanced Data Binder

情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要なスキルが修得できます。

● Hitachi Advanced Data Binderを使用したシステムを設計・開発する方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

DBJ118 Hitachi Advanced Data Binder
レクチャ
0.5日間

Hitachi Advanced Data Binder概説

Hitachi Advanced Data Binderの概要、導入から保守までの作業概要(WBS)および設計・構築・運用の基礎知識を学習します。

- 到達目標**
- ・Hitachi Advanced Data Binderの概要を理解し、説明できる。
 - ・Hitachi Advanced Data Binderの導入から保守までの作業概要(WBS)を理解し、説明できる。
 - ・Hitachi Advanced Data Binderの設計・構築・運用の基礎知識を理解し、説明できる。

対象者 Hitachi Advanced Data Binderの導入をご検討中の方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

- 内容**
1. HADBの概要
 2. HADBの設計
 3. HADBの構築の概要
 4. HADBのテストおよびチューニングの概要

備考 このコースは、13:00~17:00の開催とさせていただきます。

● ストレージの基礎および周辺知識を知りたい方

【ストレージ】	【周辺知識】		
<p>音声有・説明文なし</p> <p>CLE703 eラーニング</p> <p>【ナビ機能付き】 ストレージ関連者向け サーバ仮想化技術概説</p> <p>3 時間</p>	<p>音声有・説明文なし</p> <p>SJE705 eラーニング</p> <p>【ナビ機能付き】 SAN概説</p> <p>5 時間</p>	<p>音声有・説明文なし</p> <p>SJE016 eラーニング</p> <p>Fibre Channel概説 -日立ストレージ・ホストの 接続を理解するために-</p> <p>4 時間</p>	<p>New 音声有・説明文なし</p> <p>SJE028 eラーニング</p> <p>SCSI入門 -ストレージインタフェースを 理解するために-</p> <p>2 時間</p>
<p>New</p> <p>SPL063 レクチャ</p> <p>日立ストレージ製品概要 -ストレージ基礎・ 製品紹介編-</p> <p>1 日間</p>	<p>音声有・説明文なし</p> <p>SJE017 eラーニング</p> <p>SATA入門</p> <p>2 時間</p>	<p>音声有・説明文なし</p> <p>SJE018 eラーニング</p> <p>SAS (Serial Attached SCSI) 入門-ストレージインタフェース を理解するために-</p> <p>2 時間</p>	

● 日立ストレージのハードウェア製品特長・構成を知りたい方

New **SPL063** レクチャ
日立ストレージ製品概要
-ストレージ基礎・
製品紹介編-
1 日間

→

New **SPL064** レクチャ
日立ストレージハードウェア
-ミッドレンジストレージ編-
1 日間

→

New **SPL070** レクチャ
日立ストレージハードウェア
-ハイエンドストレージ編-
1 日間

※SPL064は、製品シミュレータを使用したストレージ設定操作が体験できます。

● 日立ストレージの各機能を使用したシステムの構築・運用技術を知りたい方

New **SPL063** レクチャ
日立ストレージ製品概要
-ストレージ基礎・
製品紹介編-
1 日間

→

New **SPL064** レクチャ
日立ストレージハードウェア
-ミッドレンジストレージ編-
1 日間

→

New **SPL066** レクチャ
日立ストレージ機能
-バックアップ編-
1 日間

→

New **SPL068** レクチャ
日立ストレージ機能
-リモートコピー編-
1 日間

↓

New **SPL069** レクチャ
日立ストレージ機能
-無停止運用管理編-
1 日間

←

New **SPL071** マシン実習
REST APIを使用した
ストレージ運用・管理
1 日間

←

New **SPL067** レクチャ
日立ストレージ機能
-仮想化編-
1 日間

※SPL064, SPL066, SPL067, SPL068は、製品シミュレータを使用したストレージ設定操作が体験できます。

音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

SPL063 日立ストレージ

**日立ストレージ製品概要
-ストレージ基礎・製品紹介編-** New

1日間

Hitachi Storage Solutions製品の基礎知識、提案および見積りの手順について学習します。

到達目標 Hitachi Storage Solutionsの基礎知識、提案、見積りに必要な事項を修得し、カタログを用いてHitachi Storage Solutionsの製品説明ができるようになり、かつ顧客のニーズを把握できるようになる。

対象者 顧客に対しHitachi Storage Solutionsに関する最適なシステムの提案技術の修得をめざす営業・SEの方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. ストレージと基礎知識
2. ストレージ製品ラインアップと特徴
3. 日立ストレージソフトウェアおよびソリューション
4. 日立ストレージ管理ソフトウェア
5. 日立ストレージ提案・見積り

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL064 日立ストレージ

**日立ストレージハードウェア
-ミッドレンジストレージ編-** New

1日間

ハードウェアについては、製品ラインアップとオプション構成などハードウェアシステム構成ができる知識、ソフトウェア関連では、基本ソフトウェアの操作・設定ができる知識について学習します。なお、GUI操作も体験していただけます。

到達目標 ・ハードウェアシステム構成ができる知識を修得できる。
・オープン系ソフトウェアの操作・設定ができる。

対象者 日立ミッドレンジストレージについて基本的な技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ製品概要-ストレージ基礎・製品紹介編-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容

1. 日立ストレージ概要
2. ハードウェア
 - (1) 全体構成
 - (2) ハードウェアコンポーネント
3. 内部動作
 - (1) Read・Write時の内部動作
4. 基本ソフトウェア(オープンシステム)
 - (1) LUN Manager (機能・操作)
 - (2) Performance Monitorなど
 - (3) Hitachi Dynamic Provisioning概要

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL070 日立ストレージ

**日立ストレージハードウェア
-ハイエンドストレージ編-** New

1日間

ハイエンドストレージを担当する初級技術者・SEを対象にミッドレンジストレージとハイエンドストレージの異なりについて解説します。また、ハイエンドストレージの特徴であるメインフレーム接続について、接続構成や機能詳細を解説します。

到達目標 ハイエンドストレージのハードウェア・メインフレーム接続を修得し、構成設計ができるようになる。

対象者 ハイエンドストレージに関連したハード/ソフト開発を行う技術者、またシステム構成設計を行うSEの方。

前提知識 「日立ストレージハードウェア-ミッドレンジストレージ編-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容

1. ハイエンドストレージ概要
2. ハードウェア
 - (1) ハードウェアアーキテクチャと内部動作
 - (2) 全体構成
 - (3) 各コンポーネント
3. ソフトウェア
 - (1) オープンシステム向けソフトウェア
 - (2) メインフレーム向けソフトウェア
4. メインフレームサポート
 - (1) メインフレーム接続概要
5. Hitachi Command Suiteストレージ設定

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL066 日立ストレージ

**日立ストレージ機能
-バックアップ編-** New

1日間

ShadowImage、Thin Imageの基本機能、ペア操作(Storage Navigator、RAID Manager)について学習します。なお、GUIおよびCLI操作も体験していただけます。

到達目標 ・ShadowImageの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Thin Imageの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージのボリュームコピー系機能 ShadowImage、Thin Imageの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージハードウェア-ミッドレンジストレージ編-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容

1. ShadowImage
 - (1) 基本機能 状態遷移 ペア操作
 - (2) RAID Managerを使用したシステム構成(構成定義ファイルなどを含む)
2. Thin Image
 - (1) 基本機能 状態遷移 ペア操作
3. GUIによる基本操作(ボリュームコピー系機能)
4. Hitachi Command Suiteペア設定

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL067 日立ストレージ

**日立ストレージ機能
-仮想化編-** New

1日間

日立ストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの基本機能、システム構成、設定について学習します。なお、GUI操作も体験していただけます。

到達目標 ・Universal Volume Managerの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Dynamic Provisioningの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Dynamic Tieringの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージハードウェア-ミッドレンジストレージ編-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容

1. Universal Volume Manager (UVM)
 - (1) 基本機能 内部動作 システム構成 操作
2. Dynamic Provisioning (HDP)
 - (1) 基本機能 システム構成、操作(仮想ボリューム、プール作成、閾値設定)
3. Dynamic Tiering (HDT)
 - (1) 基本機能 システム構成、操作
4. active flash
 - (1) 基本機能 設定 操作
5. Hitachi Command Suite階層管理

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL068 日立ストレージ

**日立ストレージ機能
-リモートコピー編-** New

1日間

日立ストレージリモートコピー機能(TrueCopy、Universal Replicator)の基本機能、システム構成、ペア操作について学習します。なお、GUIおよびCLI操作も体験していただけます。

到達目標 ・TrueCopyの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Universal Replicatorの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージのリモートコピー機能TrueCopy、Universal Replicatorの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ機能-バックアップ編-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容

1. TrueCopy
 - (1) 基本機能 状態遷移 システム構成(RAID Manager含む) ペア操作
2. Universal Replicator
 - (1) 基本機能 状態遷移 システム構成(RAID Manager含む) ペア操作

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL069 日立ストレージ	
 レクチャ	日立ストレージ機能 —無停止運用管理編— New
1日間	
global virtualizationの概要と、global virtualizationをベースとした機能であるnondisruptive migration、global-active deviceの基本機能、システム構成、操作について学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> global virtualizationの概要を修得し、操作・設定ができる。 nondisruptive migrationやglobal-active deviceの知識を修得し、操作・設定ができる。
対象者	ストレージの仮想化機能global virtualizationの技術の修得をめざす方。
前提知識	「日立ストレージ機能 —リモートコピー編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> global virtualization <ol style="list-style-type: none"> 仮想ストレージ概要、仮想ストレージの作成 nondisruptive migration <ol style="list-style-type: none"> 基本機能 システム構成 操作(データ移行) global-active device <ol style="list-style-type: none"> 基本機能 システム構成、操作
備考	このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL071 日立ストレージ	
 マシン実習	REST APIを使用した ストレージ運用・管理 New
1日間	
REST APIの基本的な使用方法から、ストレージの設定・管理方法をマシン実習を通して学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> REST APIの基本的な使用方法が理解できる。 REST APIを使用してストレージの設定ができる。 REST APIを使用してストレージの情報を確認できる。
対象者	ストレージの運用・管理を行う方。
前提知識	日立ストレージに関する知識をお持ちのこと。
内容	<ol style="list-style-type: none"> REST APIとは <ol style="list-style-type: none"> REST API概要 REST API操作 <ol style="list-style-type: none"> RESTクライアントインストール 認証(ベーシック認証、セッション認証) ストレージ情報確認、設定操作 REST API演習 <ol style="list-style-type: none"> ストレージ設定、情報の確認などの演習
備考	このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。



マシン実習
マシンを使用しながらの
研修



グループ演習
グループ演習を中心とした
研修



レクチャ
座学による研修



演習環境
職場・ご自宅などでのマシン演習
環境を使用した自己学習



研修室自習型
研修室でのマシン演習環境
を使用した自己学習



Eラーニング
インターネット接続による
自己学習



自習テキスト
自習書による自己学習

Pentahoソフトウェア

データ統合・分析基盤であるPentahoソフトウェアを使用したデータの統合処理や、分析・可視化に必要な機能や操作等の技術が修得できます。

● Pentahoソフトウェアを使ってデータ操作・参照したい方

PTD001 マシン実習
(Pentaho認定)
ビジネスアナリティクス
ユーザーコンソール
1日間

● PentahoソフトウェアのBI機能を使ったデータ分析をしたい方

PTD002 マシン実習
(Pentaho認定)
ビジネスアナリティクス
レポートデザイナー
2日間

PTD003 マシン実習
(Pentaho認定)
ビジネスアナリティクス
データモデリング
2日間

PTD004 マシン実習
(Pentaho認定)
CToolsの基本
2日間

● Pentahoソフトウェアを使用してデータ統合をしたい方

PTD005 マシン実習
(Pentaho認定)
データ統合の基本
3日間

休講

PTD006 マシン実習
(Pentaho認定)
PentahoとHadoopフレーム
ワークの基本
2日間

音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



マシン実習
マシンを使用しながらの
研修



グループ演習
グループ演習を中心と
した研修



レクチャ
座学による研修
レクチャ



演習環境
職場・自宅などでのマシン演習
環境を使用した自己学習



研修室自習型
研修室でのマシン演習環境
を使用した自己学習



eラーニング
インターネット接続による
自己学習



自習テキスト
自習書による自己学習

PTD001 Pentahoソフトウェア

(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール

1日間

ビジネス上の意思決定にビジネスインテリジェンスを利用するユーザーに対して、Pentaho製品の円滑なスタートを提供します。また、このコースはすべてのビジネス・アナリティクスとデータ統合の学習のための出発点となり、より高度なトピックのための前提条件となります。

到達目標 インタラクティブレポート、アナライザ、レポートデザイナー、およびダッシュボードデザイナーの主な機能を説明できる。

対象者 ビジネスユーザーの方、ビジネスアナリストをめざす方、データアナリスト・Pentaho管理者・Pentahoサポートを担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門
2. インタラクティブレポートによるレポート作成
3. アナライザによるレポート作成
4. ダッシュボードデザイナーによるダッシュボード作成

備考 ・このコースは、10:00～17:00の開催とさせていただきます。
・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

※別途ご案内いたします。

PTD002 Pentahoソフトウェア

(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス レポートデザイナー

2日間

Pentahoレポートデザイナーにより、レポートのデザイン、作成、パブリッシュ方法を修得します。また、データソースへのアクセスからデザイン要素の追加までビジネスレポート作成に必要なすべてのステップを学習できます。

到達目標 ・レポートデザイナーの主要な特徴を説明できる。
・データソースに接続してクエリデザイナーツールによりレポートのためのクエリが書ける。
・さまざまなデータを使用して要素をデザインできる。
・レポート要素をフォーマットして、条件フォーマットをレポート要素に適用できる。
・ハイパーリンクとパラメーターをレポートに追加できる。
・レポートデザイナーでチャートとサブレポートを使う。
・レポート内でリソースファイルを使うことができる。
・レポートウィザードを使ってレポートを作成できる。

対象者 ビジネスアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門
2. レポートデザイナーによるレポート作成
3. 高度なレポートウィザード
4. レポートウィザードによるレポート作成

備考 ・このコースは、10:00～17:00の開催とさせていただきます。
・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

※別途ご案内いたします。

PTD003 Pentahoソフトウェア

(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス データモデリング

2日間

Pentahoメタデータエディターやスキーマワークベンチを使って、インタラクティブレポートやアナライザで使用するデータモデルの作成を行います。

到達目標 ・データソースウィザードを使用してCSVファイルからデータモデルを作成できる。
・Pentahoメタデータエディターを使って、複雑なDBテーブルやレポートデータに対するセキュリティパラメータの設定をするためのビジネス言語定義が行える。
・OLAP、ROLAP、ディメンショナル・モデリングを説明できる。
・Mondrianスキーマの機能と目的を説明できる。
・Pentahoアナライザの基本的なキューブを作成するために、スキーマワークベンチを使う。
・ヒエラルキー・レベル・計算メンバーを含むスタースキーマを作成するために、スキーマワークベンチを使う。
・スキーマワークベンチ内でMondrianスキーマをテストするために基本的なMDXクエリを書ける。
・Mondrianスキーマへのアクセスを管理するため、どのようにスキーマワークベンチのルールを使うか説明できる。

対象者 ビジネスアナリスト、データアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門
2. Pentahoによるデータソースの働き
3. OLAP/ROLAPとディメンショナル・モデリング
4. スキーマワークベンチの使用

備考 ・このコースは、10:00～17:00の開催とさせていただきます。
・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

※別途ご案内いたします。

PTD004 Pentahoソフトウェア

(Pentaho認定) CToolsの基本

2日間

リッチなユーザー体験を提供するピクセルパーフェクトなダッシュボードの作成方法について学習します。

到達目標 ・ダッシュボードデザインのためのトップボトムアプローチが説明できる。
・DCFのようなダッシュボードフレームワークの目的を説明できる。
・コアのCTools (CDA、CDE、CCC) が使えて、その目的が説明できる。
・CToolsの中で使用されるテクノロジーが説明できる。
・CToolsトレーニング環境が説明できる。
・CDEを使ったダッシュボードのためのレイアウトが作成できる。
・CDEのライフサイクルの背景となる主要コンセプトが説明できる。
・CDEデータソースパースペクティブが説明できる。
・Mondrianデータソースをダッシュボードに追加できる。
・CCCとCCC2が説明できる。
・チャートや表がダッシュボードに追加できる。
・チャートカスタマイズのための拡張ポイントを見つけるためのドキュメントを使う。
・パラメータコンポーネントをダッシュボードに追加できる。
・セクターやウィジェットをダッシュボードに追加できる。

対象者 ビジネスアナリストをめざす方。

前提知識 (Pentaho認定) ビジネスアナリティクスコースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. ダッシュボードデザイン
2. CToolsのアーキテクチャ
3. CDF/CDE入門
4. CDAによるダッシュボードデータソースの作成
5. ダッシュボードへのコンポーネント追加
6. CCCによるチャートの設定
7. コンポーネント間の相互利用
8. CGGとCDAのエクスポート機能

備考 ・このコースは、10:00～17:00の開催とさせていただきます。
・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

※別途ご案内いたします。

PTD005 Pentahoソフトウェア

(Pentaho認定) データ統合の基本

3日間

Pentahoデータ統合を活用し、生産性を向上させるスキルを修得できます。また、Pentahoのデータ統合機能を使用して、さまざまなアプリケーションにデータを配信する方法を学習できます。

到達目標 ・ステップやホップを含む基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行ができる。
・データ変換の結果をメトリクスビューやログビューで確認できる。
・基本的なセキュリティを含むPentahoエンタープライズレポジトリを設定できる。
・Pentahoエンタープライズレポジトリを使用できる。
・データ変換ステップのためのエラーハンドリングができる。
・データベース接続を作成してデータベース探索が行える。
・データ変換の作成が行える。
・ストリーム上での複雑な計算を行うデータ変換の作成できる。
・パラメータや環境変数を使った繰り返しのデータ変換を作成できる。
・データ補正データクレンジングにPentahoデータ統合を使用できる。
・異なるデータソースへデータをロードできる。
・ジョブを作成できる。
・データ変換ジョブのためのログを設定し、結果を検証できる。
・Pentahoデータ統合、Pentahoエンタープライズコンソールから、スケジューリングしてモニタリングできる。

対象者 データアナリストをめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. 基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行
2. メトリクスビューやログビュー
3. Pentahoエンタープライズレポジトリ
4. エラーハンドリング
5. データベース接続
6. 各種データ変換
7. データ統合
8. ジョブの作成

備考 ・このコースは、10:00～17:00の開催とさせていただきます。
・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

※別途ご案内いたします。

PTD006 Pentahoソフトウェア

(Pentaho認定) PentahoとHadoopフレームワークの基本

2日間

HadoopフレームワークのテクノロジーとPentaho製品によるさまざまなビッグデータのコンセプトについて紹介し、PentahoがどのようにHadoop関連テクノロジー(HDFS、MapReduce、YARNなど)と連携するかを学習します。

到達目標 ・コマンドラインやPentahoデータ統合から、Hadoopテクノロジーを使用できる。
・データインジェクション(データの取込み・加工)やデータ処理のベストプラクティスを用いることができる。

対象者 データアナリストをめざす方。

前提知識 [(Pentaho認定) データ統合の基本] コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. Pentahoとビッグデータ
2. ビッグデータソリューションのアーキテクチャ
3. HadoopとHDFS
4. Hadoop DATA INGESTION TOOLS
5. MapReduceを使ったときのHadoopのデータプロセス
6. CARTE/YARNを使用したHadoopのデータプロセス
7. DATA PROCESSINGとPIG
8. PDIとOOZIEによるJOB ORCHESTRATION
9. HadoopでSQLを実行するベストプラクティス
10. HBASE概要
11. SPARK概要
12. BIG DATA
13. PDIとAmazon Hadoop

備考 ・このコースは、10:00～17:00の開催とさせていただきます。
・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

HITACHI

Inspire the Next

各種研修サービスに関するお問い合わせ

地 区	T E L	F A X
東 京	03-5471-8962	03-5471-2564
大 阪	06-4797-7360	06-4797-7361
名 古 屋	052-269-8940	052-261-8276
広 島	082-546-6172	082-546-6173
福 岡	092-844-7522	092-844-7580

日立講習会お問い合わせ窓口 ▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/inquiry/index.html>